

# 3年保育の教育課程編成の試み

～3年間を見通した教育課程試案～



浦添市立当山幼稚園 教諭 宮城清美

浦添市立牧港幼稚園 教諭 末吉弘枝

## 目 次

I	テーマ設定理由	1
II	研究の目標	1
III	研究の内容と方法	
1	3年保育の必要性	
(1)	現代の社会状況から見て	
①	就園状況	2
②	アンケート調査	2
③	蒲添市における就園促進の必要性	2
(2)	幼児期の発達と特性の理解から見て	
①	幼児期の特性	3
	資料・乳幼児行動発達速関表	4
②	幼児期の発達	5
(3)	異年齢での育ち合いから見て	5
2	教育課程の編成にあたって	
(1)	新幼稚園教育要領改訂の基本的な方針	6
(2)	教育課程の意義	6
(3)	教育課程編成の手順	7
(4)	教育課程の反省と評価	8
IV	保育実践	
1	検証授業（保育実践）計画案	8
2	活動の事例（日案・細案）	9～10
3	検証授業（保育実践）の結果と考察	11～13
V	教育課程の実際	14～15
	（3歳児・4歳児・5歳児）	
VI	年間指導計画の実際	
1	指導計画	
	（3歳児・4歳児）	16～37
2	年間計画	
(1)	安全と保健	38
(2)	地域と文化	39
(3)	飼育と栽培	40
VII	研究のまとめ	
1	研究の成果	41
2	今後の課題	41
	おわりに	41
	参考文献・資料	41

# 3年保育の教育課程編成の試み

～3年間を見通した教育課程試案～

浦添市立当山幼稚園 教諭 宮城清美

浦添市立牧港幼稚園 教諭 末吉弘枝

## 【 要 約 】

本研究は、現在の社会状況により、本市においても3年保育に向けて幼稚園教育振興計画が推進され、教育課程試案を編成したものである。

教育課程試案を編成するにあたっては、「新幼稚園教育要領」の「教育課程の編成」に基づき、文献や3年または2年保育を実施している幼稚園の資料を参考に理論研究をし、3・4歳児の幼児の発達を把握するため、市立保育所において保育実践し編成した。合わせて3・4歳児の指導計画と、安全と保健・地域と文化・飼育と栽培の年間計画も作成したものである。

## 【 キーワード 】

幼児期の発達と特性 教育課程編成及び実際の留意点 保育実践 教育課程試案 年間指導計画

### I テーマ設定の理由

幼稚園は本来、3歳から小学校入学までの幼児を入園させて教育を行う学校であると学校教育法で唱われており、幼児期は自然な生活の流れの中で直接的、具体的な体験を通して人間形成の基礎を培う重要な時期であるといえる。そのためにも、様々な体験が豊富に得られるような環境が構成され、幼児期にふさわしい生活を営むようにすることが大切である。幼児期において自我が芽生え自己中心の世界から他者の存在を意識し、他者を思いやったり、自己を抑制したりする気持ちが育ってくる。幼児期の育ちを支えるために重要な役割を果たすものは、親しい人間関係を築く場としての家庭と幼稚園があり、更に豊かな成長の機会を提供する地域社会がある。

だが近年の幼児を取り巻く環境は、少子化、核家族化、自然環境や遊び場の減少などが見られ、幼児の生活に大きな影響を与えている。このような社会状況の中で、3歳・4歳児の教育の重要性が唱われ本市においても幼稚園教育振興計画の一環として3年保育が推進されている。幼稚園教育に対する保護者の意見や要望もあり関心がみられる。

現在5歳児1年保育の中では、入園してきた幼児が信頼関係を築き、安定して友達関係ができ、学級としてまとまってくるまで1～2ヶ月位かかる。保育歴はあっても集団生活には慣れにくく、他児の遊

びを傍観し、なかなか友達と関わろうとしない幼児もいる。運動会や生活発表会等、季節ごとのいろいろな行事や園全体で取り組む活動があったりて、一年間があわただしく過ぎていき、一人一人の発達の特性に応じた指導が充分にし難い。そんな時、早く友達と関わってほしいからと先走った援助をしてなかったか、子ども達もゆとりある充実した園生活を過ごしていただろうか。

3歳・4歳児を受け入れた場合は、5歳児を中心として異年齢児による集団生活が営まれ、友達との関わりを通して人間関係が育っていく。また、保育者は一人一人の幼児に対して年齢に応じた援助や生活習慣の育成など、3年間の発達を見通したゆとりのある教育ができるであろう。

3年保育の教育課程の編成をするにあたって新幼稚園教育要領をもとに、そこに展開する幼児一人一人の理解が必要であり、地域や学校の特色を生かした創意工夫が大切になってくる。そこで、幼児の発達をよみとりながら3年保育の特性を生かした教育課程の編成の研究をしていきたいと考え、本テーマを設定した。

### II 研究の目標

新幼稚園教育要領の実施に伴い、幼児の発達の特性を捉え、創意工夫を生かし特色ある3年保育の教育課程を研究する。

IV 研究の内容と方法

1 3年保育の必要性

(1) 現代の社会状況から見て

① 就園状況

浦添市の幼稚園教育の振興について～答申～ より

沖縄県における  
3歳～5歳児の就園率

	5歳児	4歳児	3歳児
沖縄	82.5%	11.0%	6.5%
全国	42.8%	38.1%	19.6%

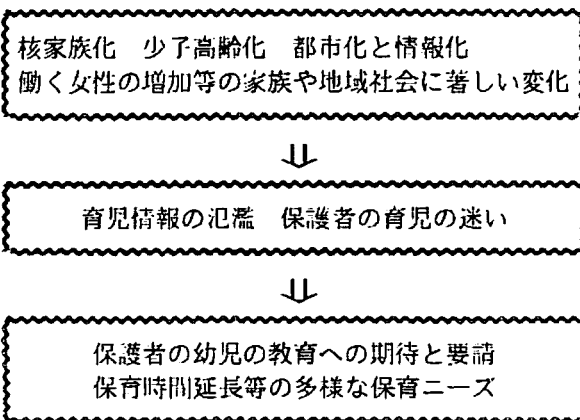
沖縄県の幼稚園別に見る  
3歳～5歳児の就園率

	5歳児	4歳児	3歳児
公立	90.6	27	1.4
私立	9.4	73	98.6

浦添市における  
3歳～5歳児の就園率

	5歳児	4歳児	3歳児
公立幼稚園	68.9%	0%	0%
保育所・私立幼稚園		38.3%	32.7%
認可外保育園		62%	67%

③ 浦添市における就園促進の必要性



② アンケート調査

調査期間 平成10年5月

調査対象 浦添市立幼稚園全11園の保護者

調査方法 浦添市教育委員会指導課より、  
幼稚園を通して配布・回収


アンケート調査結果報告

平成10年5月集計 指導課

アンケート回収率 88%


あなたのお子さんが3歳児になったら  
公立幼稚園に入園させますか。

はい	いいえ	無回答
48%	47%	5%



あなたのお子さんが4歳児になったら  
公立幼稚園に入園させますか。

はい	いいえ
68%	32%



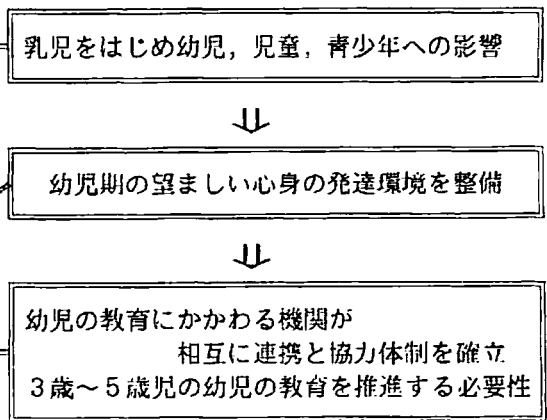
公立幼稚園の教育時間について

短い(午前中)	適当な時間
60%	40%

延長時間を希望

午後2時	午後3時	午後4時	午後5時
28%	21%	9%	42%

浦添市の幼稚園教育の振興について～答申～ より



## (2) 幼児期の発達と特性の理解から見て

### ① 幼児期の特性

#### (ア) 生活の場

幼児期は、保護者や周囲の大人から見守られ、安心感に支えられながら行動範囲が広がっていく。幼児の生活の場が最も大きく広がるのは幼稚園生活などの集団生活が始まってからである。

それぞれの家庭や地域で得た生活経験を基に、幼稚園生活で様々な活動を展開し、また、幼稚園生活で得た経験を家庭や地域での生活に生かしている。

保育者や他の幼児たちと生活を共にしながら感動を共有してイメージを伝え合い、興味や関心の幅を広げ、言葉を獲得して表現する喜びを味わう。また、大勢の友達と活動を展開する充実感や満足感を持ち、自分の生活を広げていこうとする意欲も育てられていく。自分一人でやらないといけないことや解決しないといけないこともあり、大人の手を借りながらも幼児なりに解決し、自立的な生活態度が培われていく。このように、生活の場の広がりの中で、様々な出来事や文化、人との出会いやかかわり合いを通して必要な体験を積み重ねていく。

家庭や地域での生活において幼児が安心して依存できる保護者や身近な大人が存在が必要であり、幼稚園生活が幼児にとって安心して過ごすことができる生活の場となるためには、幼児の行動を温かく見守り、適切な援助を行う保育者の存在が必要である。

#### (イ) 他者との関係

幼児期は、保護者との関係だけでなく、他の幼児や家族以外の人々の存在に気付きかかわりを求めるようになってくる。初めは同年代の幼児がいて、別々の活動をしながらも同じ場所で過ごすことで満足する様子が見られるが、次第に、言葉を交わした

り、物のやり取りをしたりするなど、かかわりをもつようになる。ときには自己主張のおつかり合いなどを繰り返しながら友達関係ができてくる。共通の興味や関心をもって生活を展開する楽しさを味わうようになると、友達関係は更に広がっていく。

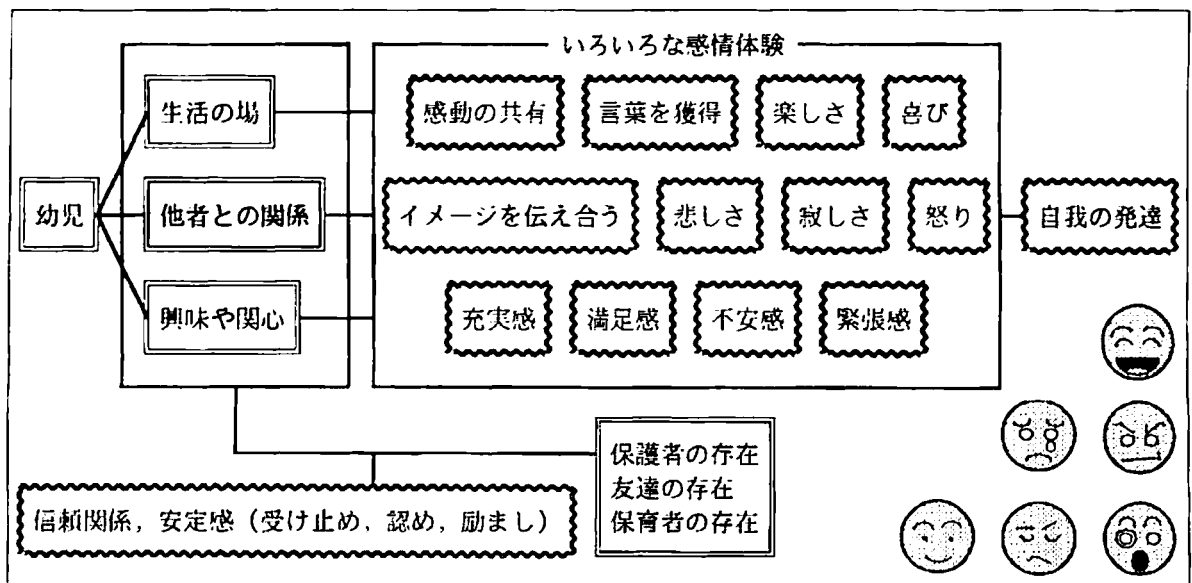
友達とのかかわりを通して一緒に活動する楽しさや喜び、また、自己主張のおつかり合いなどによる怒り、悲しさ、寂しさなど様々な感情体験を積み重ね、相手も自分も互いに違う主張や感情をもった存在でもあることに気付くようになり、友達の大切さに気付いていく。

このように他者との関係の広がりや、同時に自我の形成の過程でもある。幼児期には、自我が芽生え、自己を表出することが中心の生活から、他者とかかわり合う生活を通して、他者の存在を意識し、自己を抑制しようとする気持ちも生まれるようになり、自我の発達の基礎が築かれていく。

#### (ウ) 興味や関心

生活の場が家庭から地域、幼稚園へと広がるにつれて、興味を抱き、好奇心や探究心を呼び起こされ様々な事物や現象に出会うようになる。ものに対する興味や関心は、他の幼児や保育者と感動を共有したり、活動を展開したりすることで広げられ、高められていく。また、一人では興味や関心をもたなかったものでも他の幼児に接したり、保育者の援助などによって、興味や関心をもつようになる。

自然や出来事などの様々な対象へ幼児の興味や関心を広げるためには、同年代の幼児の刺激を受け行動を起こしたり、保護者や保育者など大人の行動を模倣し、やってみようとする他の幼児の存在や保育者の援助が大切である。



領域	新生児期	乳児期 (感覚・運動形成期)				幼児前期 (外的行為形成期)			幼児後期 (内的行為形成期)		
月, 歳	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	
運動	無条件反射	定頻	複返	はいはい	直立姿勢	歩行	歩行の複雑化	身体運動		基本的運動	
認識	定位反応	把握	マニピュレーション操作 (手動式行為)	対象的活動	定位探索行為	道具的行為	知覚行為 (外的定位行為)	思考行為 (直観行為の思考)	視覚的定位行為	論理的思考	
行為	視覚聴覚	把握反射が消える	にぎっていた手が開く	視知覚によって引き起こされる感情や願望によって行動	なぐり描き	意図的表現	図示形象	表現活動	学習活動		
遊び	不快 (泣く)	快の情動 (笑う)	おはしゃぎ反応	行為の模倣	テーマのある遊び (動作の模倣)	ごっこ遊び (行為の再現)	役割遊び (社会関係の再現)	ルールのある遊び			
感情					記憶している対象と結びつけた感情・願望の発露 (行動が目的志向になる)	自立的志向	自己意識	自尊心	知識欲	自己評価 セルフコントロール	
交流	叫喚	情動的交流活動	実務共同活動	認識的交流 (なぜ? どうして?)	人格的交流						
言語		非叫喚	音声遊び (囁語)	言葉と物、言葉と行為の結合 (言語理解、始語)	理解言語 (使用言語 (外音))	文法構造の習得	自己中心的言語 (独言)	行動調整 異語	思考の道具としての言語 (内音)		
年齢特徴	1年目 (0歳児)	2年目 (1歳児)	3年目 (2歳児)	4年目 (3歳児)	5年目 (4歳児)	6年目 (5歳児)					
年齢特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感覚過程を発達させ、視覚、聴覚、触覚などによって多様な印象がたくさん得られるようにする。</li> <li>○定位的運動の最初の形式を形成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感覚を一層発達させるため諸条件をつくる。</li> <li>○視覚・聴覚による知覚を発達させることにより、手の運動を形成する。</li> <li>○たえず子どもと交差をかわすようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○視覚・聴覚による知覚ひきつづき発達させる。</li> <li>○はいはい、お坐り、つかまり立ちなど、自力で歩けるようになるための準備運動を完成させていく。</li> <li>○物を扱う動作を発達させる。</li> <li>○言葉の発達をはかる。(指名された物や、人を目でさがすなど)</li> <li>○自分の生活リズムを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前半に言葉を理解する力が集中的に発達し、模倣する能力が完成に向う。後半に構造的言語が急速に進む。</li> <li>○歩行が完全なものになっていく。</li> <li>○道具を使いはじめ、利手が決ってくる。</li> <li>○遊びの中で、大人が教えた動作を模倣再現する。</li> <li>○大人は子どもに対して一定の要求を出しはじめ、言葉による指示が多くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知的発達面で大きな変化がおこる。(対象の始まり)</li> <li>○平行遊びから徐々に共同遊びへと移行していく。(テーマのある遊びが主になる)</li> <li>○大人の援助がなくなるも行動しようとする積極性、自主性があらわれる。</li> <li>○身辺のことについては言葉で言いあらわされる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かなり複雑な動作が行なえる。</li> <li>○想像力が発達する。</li> <li>○みんなと一緒に遊ぼうという形式があらわれてくる。</li> <li>○他人の力をかりず自分の力でやりとげようとする気持が大きくなる。</li> <li>○現象の原因を知ろうとして「なぜ」をあひびせる。</li> <li>○順序を立てて、まとまったことが言えるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○注意力が強固になり、意識的、計画的に記憶したり、事象を想起できるようになる。</li> <li>○頼まれた仕事を喜んで遂行する。</li> <li>○大人の援助があれば着想を具体化できる。</li> <li>○共通の目的を達成するために、友だちに合わせて行動できるようになる。</li> <li>○美的感覚、美的態度が発達する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的運動を次々と、立派に習得していく。</li> <li>○思考力の大さな進歩がみられる。</li> <li>○頼まれた仕事を喜んで遂行する。</li> <li>○学習活動の形態を形成することにより、課題を理解する能力を身につける。</li> <li>○集団活動の役割分担などを話し合える。</li> <li>○意志力が一層発達する。</li> <li>○創造性の言葉遊びが発達されるようになる。</li> </ul>			
	(子どもの反応を引きおこすように大人の方から動きかけをする。)										

## ② 幼児期の発達

### (ア) 発達のとらえ方

人は生まれながらにして、自然に成長していく力と同時に、周囲の環境に対して自分から能動的に働きかけようとする力をもっている。生活に必要な能力や態度などを獲得していく過程を発達と考える。

能力や態度などの獲得のためには、遊びを中心とした生活の中で、幼児自身が自らの生活と関連付けながら、好奇心を抱き、必要感をもつことが重要である。発達の捉え方として、幼児の心身の諸側面が相互に関連し合い、多様な経過をたどって成し遂げられていくものであるとしている。長期的な見通しに立ち、どの時期に何をどのような方法で身に付けていくかを考えることが大切である。

幼児期の発達を促すためには、活動の展開によって柔軟に変化し、幼児の興味や関心に応じて必要な刺激が得られるような応答性のある環境が必要である。また、幼児の行動や心の動きを受け止め、認めたり、励ましたりする保護者や保育者などの大人の存在が大切である。信頼関係が築かれ、心が安定し、積極的に周囲に目を向け、かかわるようになる。

### (イ) 発達の特性

幼稚園においては、幼児の生活経験がそれぞれに異なることを考慮して、幼児一人一人の発達の特性を十分に理解して、幼児の発達の実情に即応した教育を行うことが大切である。

- ☆幼児期は、身体が著しく発育するとともに、運動機能が急速に発達する時期である。
- ☆幼児期は、次第に自分でやりたいという意識が強くなる一方で、信頼できる保護者や教師などの大人にまだ依存していたいという気持ちも強く残っている時期である。
- ☆幼児期は、幼児が自分の生活経験によって親しんだ具体的なものを手掛かりにして、自分自身のイメージを形成し、それに基づいて物事を受け止めている時期である。
- ☆幼児期は、信頼や憧れをもって見ている周囲の対象の言動や態度などを模倣したり、自分の行動にそのまま取り入れたりすることが多い時期である。
- ☆幼児期は、環境と能動的にかかわることを通して、概念を形成する時期である。たとえば命あるものとそうでないものの区別、人その他の動物の区別など。
- ☆幼児期は、他者とのかかわり合いの中で、様々な葛藤やつまずきなどを体験することを通して、将来の善悪の判断につながる、やってよいことや悪いことの基本的な区別ができる

ようになる。

(幼稚園教育要領解説より抜粋)

乳幼児行動発達連関表から見ると、3歳児は自我の芽生え始める時期である。身体の発達に伴い、言葉の発達も著しい。また、3歳児は危険を予知したり、回避したりすることが難しい時期でもある。更に、基本的な生活習慣においても身の回りのことは自分でやってみようとする自立へ向かう時期であり、生活の仕方、遊び方が身についてくる。

このように3歳児は個人差が大きい時期であるという発達の特性を踏まえ、3歳、4歳、5歳の3年間のゆったりとした教育期間の中で一人一人の発達の実状を十分に考慮したきめ細かな対応が望まれる。

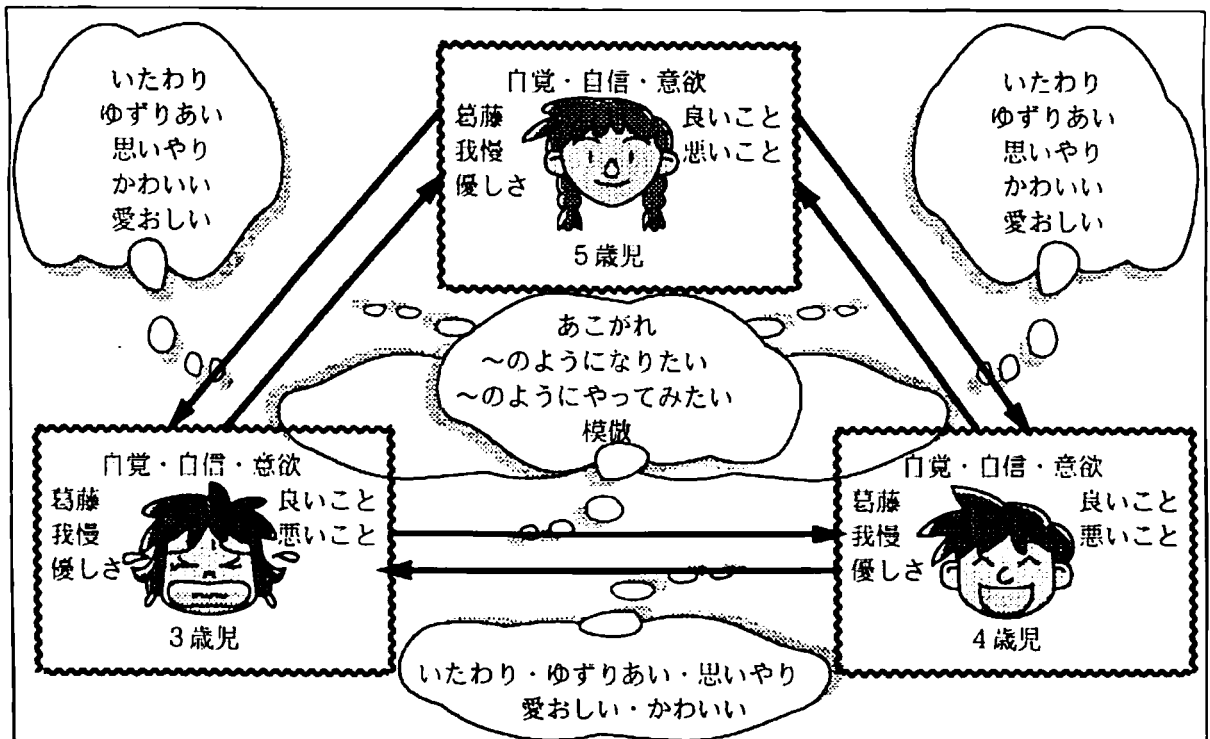
### (3) 異年齢との育ち合いから見て

園生活において異年齢でのかかわり合いは、同年齢同士には見られない人間関係が育ってくる。年長組になると「小さくてかわいい」「愛おしい」など、保育者と一緒に年下の子ども達の世話をする様子が見られる。頼もしく、あこがれの存在となる年長児は、年下の子どもたちから認められると、自覚や自信が出てきて、年下の子どもたちに教えてあげたり、面倒を見たり、世話をしたりするようになる。

年少や年中児は、5歳児がしている遊びを真似してみたり、側で遊んだりして、あこがれと羨望をもって見ている。「自分たちもやってみたい」「できるようにになりたい」という気持ちが起こり、意欲がかきたてられ、模倣をして遊ぶようになってくる。保育者が、一緒に遊びたいという思いを受け止め、実現できるよう仲立ちをして援助することで、年長児とふれあい一緒に遊ぶことができ、遊びが楽しくなり満足感を味わえるようになる。また、自分の思い通りにならないいらいらや自己主張のぶつかり合いなどの体験も味わうようになる。

5歳児がモデルになり一緒に遊ぶことで、自信、自覚、意欲がみられ、また思いやり、やさしさ、ゆずりあい、良いことや悪いことなど道徳性の芽生えも培われる。葛藤、我慢することもできるようになり、生きる力の素地作りにもなるであろう。

保育者の援助として、遊びの中で自然に異年齢とのかかわりを広げられるようにし、同年齢、異年齢での好きな友達と一緒にかかわれる時間をたっぷり確保するようにすることが大切である。また、園外保育などで年少や年中児と手をつないで一緒に出かけたり、ごっこ遊びに招待するなど、異年齢のかかわりを保育者が意図的に子ども達に意識づけることも必要になってくる。



## 2 教育課程の編成にあたって

- (1) 新幼稚園教育要領改訂の基本的な方針  
新幼稚園教育要領が改訂され、  
実施に向けての基本的な方針として

- ①遊びを中心とした生活を通して、一人一人に応じた総合的な指導を行い、幼稚園教育は環境を通して行うという基本的な考え方を引き続き継承し、充実、発展させること。
- ②幼児の主体的活動が十分に確保されるための幼児理解に基づく教師による計画的な環境の構成や遊びへのかかわりなどにおける教師の基本的な役割について明確にすること。
- ③豊かな生活経験を通して自我の形成を図り、生きる力の基礎を培うため、「ねらい」及び「内容」を改善すること。
  - (ア) 心身の健康を培う活動を積極的に取り入れるとともに、幼児期にふさわしい道徳性を生活の中で身につけるよう指導を充実すること。
  - (イ) 自然体験、社会体験などの直接的、具体的生活体験を重視すること。
  - (ウ) 幼児期にふさわしい知的発達を促す教育のあり方を明確に示すこと。
  - (エ) 自我が芽生え、自己を抑制しようとする気持ちが生まれる幼児期の発達の特性に応じたきめ細かな対応を図ること。

(オ) 集団とのかかわりの中で幼児の自己実現を図ること。

- ④小学校との連携を強化する観点から、幼稚園における主体的な遊びを中心とした総合的な指導から小学校への一貫した流れができるよう配慮すること。
- ⑤少子化の進行、家庭や社会のニーズの多様化に対応し、幼稚園が家庭や地域との連携を深め、積極的に子育てを支援していく地域に開かれた幼稚園づくりや教育課程に係る教育時間の終了後に行う教育活動など幼稚園運営の弾力化を推進すること。

## (2) 教育課程の意義

教育課程は、幼稚園における教育機関の全体を見通したものであり、幼稚園教育の目的、目標にむかってどのような道筋をたどって教育を進めて行くかを明らかにした全体計画である。

各幼稚園は特色を生かし、幼稚園教育要領を基にして、創意ある教育課程を編成することが大切である。編成するに当たっては…

- ☆ 幼稚園教育の内容と方法の理解
- ☆ 幼児の発達の特性と生活の理解
- ☆ 入園から修了までの発達の見通しを持つ
- ☆ 幼稚園や地域の実態を捉える

(幼稚園教育要領解説より抜粋)



(3) 教育課程編成の手順

教育課程の法的な拠り所

---

日本国憲法 「教育を受ける権利」  
教育基本法 「教育の目的」「教育の方針」  
学校教育法 「幼稚園の目的」「教育の目的」「保育内容」「入園資格」「職員」「準用規定」  
学校教育法施行規則 「設置基準」「教育週数」「教育課程の基準」「準用規定」  
幼稚園設置基準 総則「趣旨・基準の向上」編制「1学級の幼児数・学級の編成・教職員」施設及び設備等「一般的基準・園地、園舎及び運動場・施設及び設備等・他の施設及び設備等の使用



教育課程編成に必要な基礎的共通理解事項（幼稚園教育要領）

---

第1章 総則（1 幼稚園教育の基本 2 幼稚園教育の目標 3 教育課程の編成）  
第2章 ねらい及び内容（健康 人間関係 環境 言葉 表現）  
第3章 指導計画作成上の留意事項



県・市教育委員会の教育についての目標の共通理解

---

沖縄県教育委員会 「教育主要施策」（学校教育の充実・幼稚園教育の充実）  
浦添市教育委員会 「学校教育要覧」（重点施策及び主要事業・幼児教育）



教育目標を設定する（各園の教育目標の共通理解をする）

---

\* 幼児、園、地域の災態を把握 \* 社会の要請や保護者の願いなどを把握



幼児の発達課題の長期的な見通し・教育目標達成の過程についての見通し

---

\* 発達の節目を探り発達を長期的に見通す  
\* 発達の過程に応じて、教育目標がどのように達成されていくか予測する



教育週数と教育時数の検討・具体的なねらいと内容の組織

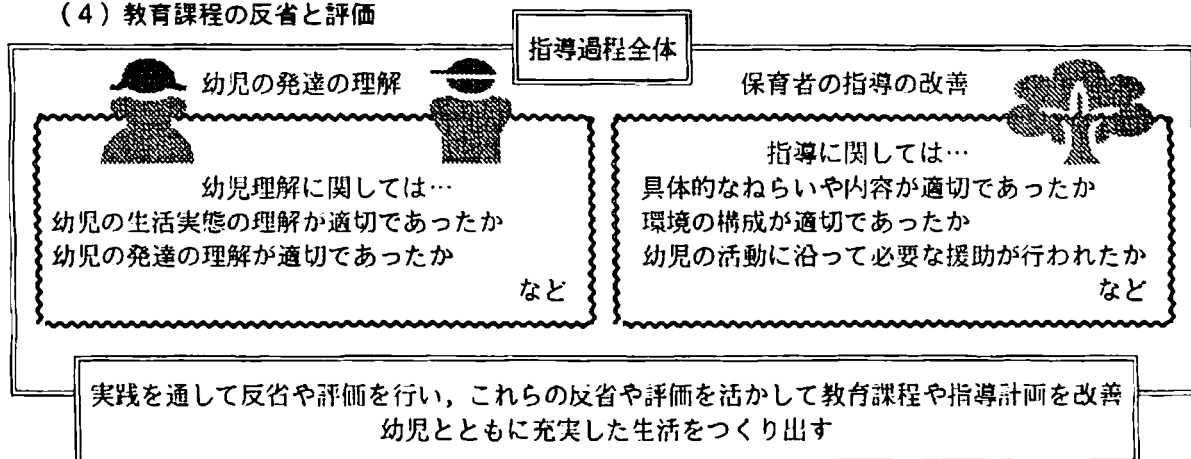
---

\* 幼児の発達の各時期にふさわしい生活が展開されるように、適切なねらいと内容を設定  
\* 教育要領の第2章（ねらい及び内容）に示す事項が総合的に指導され達成されるようにする



教育課程を実施した結果を評価・反省する（次回の編成に生かす）

(4) 教育課程の反省と評価



V 保育実践

1 検証授業（保育実践）計画案

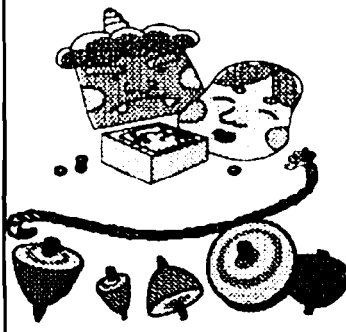
～ねらい～

幼児期の発達を理解する。

～内容～

\*浦添市立幼稚園では現在3・4歳児保育が行われていないので、浦添市立内間保育所にて検証授業。

\*検証授業（保育実践）指導案作成は、保育所の保育計画（指導計画）と行事表・日課表を参考に計画。

日 程		内 容	
①	12月20日(月)	事前調整	実施園と話し合い(日程調整・クラスの決定・活動内容)
②	1月6日(木)9:00～13:00	事前取組	行事「こま遊び」の体験活動の援助 *園児・保育者間とのコミュニケーションを図る
③	1月13日(木)9:00～17:00	//	終日保育参加(ティールーム体験) ↓
④	1月18日(火)9:00～13:00	//	行事「凧作り」の製作活動の援助 ↓
⑤	1月27日(木)9:00～13:00	事前導入	意図的活動の事前導入 ↓
⑥	1月28日(金)9:00～13:00 ～当日～ 	保育実践	*生活面において 基本的な生活習慣の発達状況を理解する (食事・排泄・睡眠・着衣・清潔) *遊びの面において 登園後の好きな遊びに関わり楽しく過ごし、 3歳児・4歳児の気持ちを知る(室内・戸外遊び) *人との関わりにおいて 保育者⇔子ども、子ども⇔子ども (同年齢・異年齢)の関わりについて参加し 人との関わりを理解する *集団活動において 意図的活動を実践し、一斉活動の中での 子どもの興味・関心を知る
⑦	1月28日(金)	反省・まとめ	実践研究の結果と考察

平成12年 1月 28日 金曜日 9:00~13:00		浦安市立内開保育所	花柄 4歳児 25名(1クラス くま組) 3歳児 32名(2クラス きりん組・うさぎ組)	
幼児の姿	(3歳児) *ブロック、ままごと、ミニカー遊びなど自分の好きな遊びをしている。保育者がかかると遊びが盛り上がる様子が見られる。 *衣服の着脱、食事、排泄など保育者の援助を多少必要とする子もいる。	ねらい	◎3歳、4歳児の発達を理解する。	
	(4歳児) *たこ作りに当んで参加したり、年長児のこままわしを見て興味を持ち、できるようになりたいと取り組んで入っている子など、お正月遊びを楽しんでいる様子が見られる。 *三輪車、ままごと、ブロックなど、友達同士で遊んでいるが、遊びの中で「貸してこない。」「僕も使いたいのに。」「などと、トラブルがおきたりしている。	内容	◎基本的な生活習慣の発達状況を理解する。(食事、排泄、睡眠、着衣、清潔) ◎登所後の好きな遊びに関わり、3歳児・4歳児の気持ちを知る。 ◎同年齢や異年齢児の関わりについて参加し、人との関わりを理解する。 ◎象徴的活動を実践し、一斉活動の中で子どもの興味・関心を知る。	
時間	女子型される幼児の活動	★援助・配慮・環境構成	視点	
～9:30	登所登所 ☆あいさつをする ☆所定の箇所へ所持品をまとめておく	★笑顔で挨拶をかわし、温かく迎えながら健康状態を観察する。 ★保護者からの連絡や家庭の様子を聞くようにする。	視点: *挨拶が言えるかな?	
	好きな遊び(室内・戸外) ※環境図参照	☆玩具で遊ぶ ブロック ままごと くるま ぬいぐるみ・人形 ☆固定遊具で遊ぶ	☆お正月遊び こま はねつき まり・ボール 凧作り 福笑い	★保育者が互いに連携を取り合い、絶えず安全に気を配り安全指導をする。 ★一人ひとりのやりたい遊びが満足して遊べるように環境を構成し、子どもと一緒に遊びながら楽しく過ごせるようにする。 ★3歳、1歳、5歳の異年齢のかかわりをもてるようにする。
10:00	登所終了・片付け	☆遊んだ遊具の片付け ☆カバンをもって各保育室へ移動 ☆ロッカーへカバンを置く ☆おたより紙に印鑑を押す ☆出発点呼を受ける ☆排便・手洗い	★室内や戸外で遊んだあと、保育者と一緒に片づけを手伝いながら、使った道具は自分たちでも片づけられるように援助する。 ★カバン・衣類など自分の持ち物をきちんとロッカーに置いておくか、おたより紙を出しているかチェックをする。忘れがちな子には声をかけてあげる。 ★欠席している子、まだ登所していない子がいるか確認する。 ★排便の声かけをする。	視点: *自分の好きな遊びに取り組めるかな? *他人の友達と遊ぶことができるかな?(同年齢だけ) * // (異年齢も交えて) *遊具をゆずり合って使えるかな? *遊びの中で順番を守れるかな? *「貸して」「させて」「いれて」など遊びに必要な言葉が言えるかな?
11:00	象徴的活動 ※種別参照	☆お話を聞く ☆作って遊ぶ	3歳児(こま作り) 筒枝とフィルムケースなどを使い、こまを作って遊ぶ。 4歳児(まど当て) 新聞紙をよるめボールを作り、鬼のまどに当てて遊ぶ。	視点: *遊んだものをもとの場所へ片づけられるかな? *自分の持ち物を所定の場所に置けるかな? *おたより紙に自分で押印できるかな? *おたより紙の今日の目付がわかるかな? *促されなくても自分からトイレに行けるかな? *パンツを全部脱がず排便できるかな? *排便後の後始末ができるかな?
11:30	片付け・食事の準備	☆遊んだ作品の片付け ☆排便・手洗い ☆椅子・手ふきの準備	★手の洗いや、トイレの仕方・おてふきのしぼり方・椅子の持ち方などは、生活の流れの中でゆとりをもてるよう充分に時間的配慮をし、ひとりひとり根気よく繰り返し指導をしていく。 ★異年齢で当番活動ができるように促す。	視点: *おてふきを上手にしぼれるかな? *こぼさずに食器が運べるかな? *箸やフォークを使い、皿をもってこぼさないように食べられるかな? *食事を好き嫌いをなくむらなく食べることができるかな? *こぼしたものを自分で拾い始末できるかな? *落とした箸やフォークを洗って使えるかな? *食べた後食器を片付けられるかな?
12:30	食事	☆食事の挨拶をする ☆食事をいただく ☆食器・椅子の片付け	★食事のマナーに気づかせながら楽しくいただく。 ★感謝する気持ちでいただく。(調理の方・当番) ★食べるのが遅い子や、偏食のある子に対しては、何でも食べる大切さを知らせ、食べた時にはほめていくようにする。 ★こぼしたものは自分で拾い始末し、落とした箸やフォークなどは洗って使うように指導する。	視点: *おてふきを上手にしぼれるかな? *こぼさずに食器が運べるかな? *箸やフォークを使い、皿をもってこぼさないように食べられるかな? *食事を好き嫌いをなくむらなく食べることができるかな? *こぼしたものを自分で拾い始末できるかな? *落とした箸やフォークを洗って使えるかな? *食べた後食器を片付けられるかな?
13:00	掃除・登所の準備	☆片付けをする ☆寝具の準備 ☆紙芝居・絵本をみる	★お昼食はできるだけ自分でできるようにし、できないところを手助けしたりしながら指導する。 ★食後なので落ち着いた雰囲気をつくり、絵本や紙芝居の読み聞かせをする。	視点: *衣服の前・後、表・裏の区別がわかり一人で着脱ができるかな? *着替えた衣服をビニール袋に入れ片付けられるかな? *寝具の準備ができるかな?
13:00	昼寝	☆昼寝をする	★静かな音楽を流してスムーズに眠れるような雰囲気をつくる。 ★寝具の調整をする。	



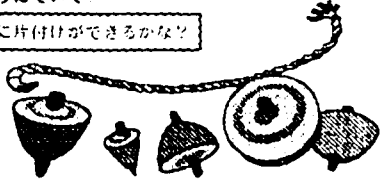
保育実践指導案（組案）3歳児

浦添市立教育研究所 研究員 末吉弘枝

保育実践指導案（組案）4歳児

浦添市立教育研究所 研究員 宮城

平成12年 1月 28日 金曜日 10:00~11:00 (集団的活動時間)	
浦添市立内開保育所 3歳児 32名(きりん組・うさぎ組 2クラス)	
ねらい	*ひとりひとりがどこまでできるのか、また集団の大体の傾向としてどのようなことができ、どのようなことができないのか、子ども達と関わる中で、3歳児の発達段階の傾向をとらえていく。
内容	*ひとりひとりに応じた援助・配慮・指導を試みながら、3歳児の心情・意欲・態度の側面から発達をとらえていく。
時間	☆予想される幼児の活動 ☆保育者の援助・配慮 視点
10:00	<p>☆集まって話を聞く</p> <p>*ひとりひとりに語りかけていくつもりでつながりを大切に、楽しく話を始めていく。 *活動についての手順や約束をわかりやすく話す。 *よざけている子に注意するのではなく、よく聞いている子にスポットをあて頑張りをほめて認めていく。</p> <p>視点: *みんなが集まることができるかな? *話の内容をどれくらい理解し覚えるかな? *話を最後まで聞くことができるかな?</p> <p>☆こまを作る</p> <p>①材料を受け取る。 ②フィルムケースに色を塗る。 ③フィルムケースの中心に両枝を通す。</p> <p>*子どもの発達や遊びの様子に応じて、子ども達が意欲的に扱えるようにイメージに合った材料を準備する。 *生活の時期(慣れ)を考え、子ども達が活動にどれくらい時間を必要とするかを予想し、柔軟に時間の見直しをもつ。 *嬉しいと思っている子には手助けしながら励まし、序々に関心をもたせその子なりに関わって遊べるようにしていく。</p> <p>視点: *色の種類がわかるかな? *色塗りができるかな? *両枝を通すことができるかな?</p> <p>☆頑張って作っているのを認めてあげたり、自分が作ったこまをまわせるのを保育者も共に喜び合ったりしていく。 *楽しく遊べた気持ちももてるように、時間と空間のゆとりを確保する。</p> <p>視点: *こまを両手の手のひらでまわすことができるかな? *こまを片手の指でまわすことができるかな?</p> <p>☆子ども同士やっていることに関心をもたせ、仲間づくり・模倣・役割ができるように友達との遊びが見えやすい環境をつくる。 *友達と一緒に楽しめるように互いに披露できる場面を所々でもうける。</p> <p>視点: *こま作り・こままわしを楽しんでいるかな? *友達と一緒に喜び楽しむことができたかな?</p> <p>☆保育者も一緒に片付けを手伝いながら、「また、しようね!」と明日へ遊びの期待がつながるような声かけて片付けられるようにしていく。</p> <p>視点: *保育者と一緒に片付けができるかな?</p>
10:30	<p>☆作ったこまで遊ぶ</p> <p>☆披露してみせる</p>
11:00	<p>☆片付ける</p>



平成12年 1月 28日 金曜日 10:00~11:00 (集団的活動時間)	
浦添市立内開保育所 4歳児 25名(くま組)	
ねらい	*楽しくゲーム遊びをすることを通して、4歳児の発達段階の傾向をとらえていく。
内容	*4歳児の身体的発達や精神的発達をとらえながら、生活や遊びにおける実感を把握していく。
時間	☆予想される幼児の活動 ☆保育者の援助・配慮 視点
10:00	<p>☆集まって話を聞く</p> <p>*手遊びをして楽しい雰囲気を作り、部分に関する話をしながら今日の活動に興味や関心をもたせる。 *身近にある新聞紙を使って遊ぶことに気づかせながら、作業の手順をわかりやすく説明するようにする。 *ゲームに必要な材料を使いやすいように準備する。</p> <p>視点: *声を聞いて集まることができるかな? *静かに話が聞けるかな? *話の内容を理解できるかな?</p> <p>☆新聞紙で玉を作る</p> <p>*新聞紙を丸めて玉を作る、色紙に糊づけして、貼りつけるなどの作業のとき、一人ひとりの様子を見守りながら、必要に応じた言葉かけや援助をする。 *根気強く取り組んでいる姿を認め、励ましていく。 *自分で使ったのり、台紙などを片づけてから、鬼のめあてゲームをするように促していく。 *ゲームをするとき、的の高い鬼や低い鬼、泣き虫鬼やいじわる鬼など、いろいろなめあてができるように環境構成を考慮し、挑戦したい気持ちももてるようにする。 *「新聞紙の玉を友達に向かって投げるとどうなる?」と、子どもたちに気づかせながら安全面に留意する。 *保育者も一緒にゲームに参加して楽しさに共感し、幼児の感じたことや気づいたことを受け止めていく。</p> <p>視点: *新聞紙を丸めることができるかな? *上手に糊をつけることができるかな? *色紙を貼りつけることができるかな? *使った物を片づけるかな? *ゲームを楽しんでいるかな? *友達と一緒にゲームを楽しんでいるかな?</p>
10:45	<p>☆片づけをする</p> <p>☆話し合いをする</p>
11:00	<p>☆片付ける</p> <p>視点: *自分の思いを話すことができるかな? *友達の話聞くことができるかな?</p>



### 3 検証授業（保育実践）の結果と考察

基本的な生活習慣の発達から

#### 結 果

- ◎3歳児は食事の時の準備や片付けなどにおいては、できないことは保育者に手助けしてもらいながら自分でできることは自分でしようとする姿が見られた。4歳児においてはほとんど自分でやるという姿が見られた。また、3歳児は食事の時、大体フォークを使用し、時々箸を使用していたが、4歳児と比べ箸を使う頻度が違うため上達の違いが見られた。
- ◎食事の時にこぼしたものや落とした箸は、保育者の声かけて自分で拾い始末していた。
- ◎3歳児・4歳児とも自分達で配膳したり挨拶をしたりして当番活動に取り組む様子が見られた。
- ◎着脱面においても3歳児は自分で着脱しビニール袋に入れて始末するが、個人差があり時間がかかる。その点4歳児は短時間で着脱、ビニール袋に入れて始末する様子が見られた。
- ◎排便の時男児の中には、すのこの上でズボンもパンツも全部とってからする子もいた。3歳児の中に 排便後にトイレトペーパーを巻き取ったり、おしりを拭くときなど保育者の援助や確認が必要な子もいた。



#### 考 察

- ◎毎日の生活の中で、子どもの自立したい気持ちを認め、励まし、援助していくことで、子ども達も自分でできるのたという自信がもてるのたろう。またまた確立されていない部分もあるので保育者が意識をもち、個々に応じた適切な援助をすれば生活習慣が身に付くのではないかと考えられる。

好きな遊びの関わり中から

#### 結 果

- ◎室内や戸外で自分のやりたい遊びに取り組んでいるが、随時登所してくる為ひとりひとりの遊ぶ時間が充分にとれない状況がある。
- ◎3・4・5歳児の他、3歳未満児と幅広い年齢の子ども達がいるので年齢・人数・安全面から玩具（ブロック等）が多いように思われた。
- ◎同年齢の気の合う友達で遊ぶ様子が見られた。
- ◎3歳児が砂遊びをしていたが、個々に遊んでいて同じ遊びをしていても他児との関わりが見られない。
- ◎ログハウスの中に3歳児・4歳児の兄弟と4歳児の男児という構成でままごとをしている様子が見られた。



#### 考 察

- ◎年齢や時期に応じた身近な自然環境を整え、遊具・材料を用意して環境構成をし、子ども達が意欲的に取り組めるような環境を考慮する必要が考えられる。
- ◎保育者は子どもの実態を把握して十分に遊べる場や時間を確保し、子どもが遊んで楽しかったという満足感を味わうことができるように援助していくことが大切かと思われる。また、保育者も一緒に遊びに交わりながら時には仲介する事で3歳児は4・5歳児の模倣もでき、さらに異年齢児との関わりも出てくるのではないかと考えられる。

### 結 果

～集まって話を聞く場面より～

◎声をかけると、保育者の周りに競争しているかのように素早く集まることができていた。できるだけ側に寄りたいたと保育者にびったりくっつく子どももいた。

前口導入でフィルムケースを見せながらした話を覚えていて、保育者が問いかけると「ヤッター！カメラのでこまつくる！」と返していた。

また、片付けの際にこまのしまい方を説明するときには、グループで椅子に腰掛けたまま話を聞くこともできていた。

全体で集まって保育者の話を聞き、覚えて行動に移っていた。



～こまを作る場面より～

◎大体の色の名称がわかり、好きな色もあった。

ひとりひとり製作に時間差があると考え、作るコーナーと遊ぶコーナーのスペースを設定しておく、こまをまわすことよりも色塗りが好きで、フィルムケースのキャップだけではなく筒にも色を塗ったり絵を描いたり熱心に時間をかけてやっている子どももいた。

また「まわったらきれい！」と、こまをまわしてみたら色に関心をもち、「(他の)～いろぬる！」と色を付け加えたりしている子どももいた。保育所の担任と相談したところ、1時間の設定時間で作って遊ぶのは時間が厳しいと予想したが、子ども達は思ったより上手に素早く作り上げ、ふたつ目のひとくちゼリーのカップのこまも作り上げた。



～作ったこまで遊ぶ場面より～

◎こまをまわすコーナーでは何本かのフープを置きその中でこまをまわすようにしたところ、側にいる子のやり方を見てまわして遊んでいるので、両手で手のひらを使ってまわすのを練習しているグループ、片手で指を使ってまわすのに挑戦しているグループが見られた。

「トントン(ジャンプ)してまわっている！」「わあーまわったー！」「せんせいみとってよ！」と呼ぶ子どもも沢山いて、どの子どもも自分が作ったこまや、こまをまわせるのを見せたがっていた。



～ 片付け場面より～

◎作ったこまは大事になくさずに道具箱に片付けていた。フィルムケースの筒の部分は、楊枝が危ないようにキャップのこまをしまう時に使うので、保育所の担任に記名してもらった。名前を書いてもらったことで自分のものという意識があり、なくなってもさがす子どももみられた。



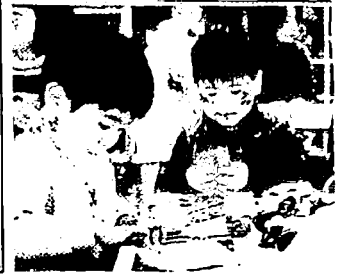
### 考 察

◎3歳児では全体で集まって保育者の話を聞き、活動に取り組むことができた。その中から、何でもやることに関心を示し、できたことに喜び活動している姿が見られた。また、周囲の様子などにも敏感にすぐ関心を示すことや、様々な行動に個人差があり、一人一人の幼児が自分にかまってほしい(みてほしい)様子もうかがえた。

そのことから、保育者は3歳児という発達過程の時期に応じて、生活面や活動面などに刺激となる人的・物的環境を考慮し、一人一人の気持ちを大切にされた援助が必要ではなかろうか。

結 果

- ◎保育者の作った鬼の顔を見て「何して遊ぶの?」「おにはそとーってやるの?」「やりたいなー」と、いう声が聞かれ、新聞紙を丸めて1個、玉を作っての当てをして遊ぶようすが見られた。
- ◎「先生、もっと投げるのがあったほうがいいよ。」と、要求してきたので、保育者は「明日も楽しい遊びをしたいから新聞紙があったら持ってきてくれる?」と、呼びかけてみることにした。



～本日の取り組み～

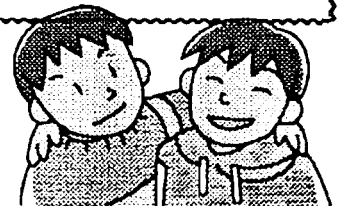
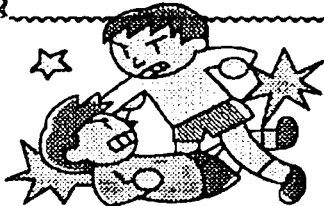
結 果

- ◎登所してすぐに、「持ってきたよ」と新聞紙を手渡す子が3人いた。
- ◎導入の際の絵本の読み聞かせや作業の手順の説明も、保育者の方を向いて聞いており、話の内容も理解している。
- ◎作業の手順はほとんどの子が上手にできるが、中には糊を付けすぎて色紙がべとべとになったり、反対に色紙全面に糊がついていないので、うまく貼りつけられない子もいた。手が汚れないようにと指先でつまんで貼りつけているようすも見られた。「糊がない。」「固まっている。」と、不安そうに訴えてくる子もいた。
- ◎「おこりんぼ鬼に入った。」「角にあたった。」「青鬼の頭からに入った。」などと、的当てゲームを楽しんでいるようすが見られた。「泣き虫鬼に当てたらかわいそうさ。」と言う子がいたり、玉をたくさん作った子は、ままごとの中からかごを出してきて玉を入れ、ゲームをしていた。また、「え、え、ぼくの見ておけよ。」と、友達同士で遊んでいるようすが見られた。
- ◎鬼を怖がる子もいることを予想して、いろいろな表情の鬼の顔を作ったことが子ども達にも好まれ、怖い鬼のイメージが薄れ、楽しく取り組んでいた。
- ◎活動後の話し合いの場では、自分の思いを話したい子が多かったが、「あれにあたった」と、鬼を指さしたり、「おもしろかった」で、とどまっている。保育者が「どの鬼に入ったの?」「どうやって投げたの?」と、言葉をひきだしてやると友達に伝えられた。



考 察

- ◎4歳児で、活動に興味をもち、前日の保育者の話を母親に伝達して、翌日の活動に取り組めることが把握できた。遊びにおいても友達と一緒に挑戦し、かかわる様子が見られた。また、話し合い活動では、自分の考えを話したい子が多いが、思いをうまく伝えられない様子も見られた。このことから、意欲的に取り組めるような環境構成を考慮し、幼児の発達を理解して、一人一人の思いを受け止め、自己発揮できるよう援助していくことが大切ではないかと考えられる。



V 教育課程の実際（教育課程試案）

3 歳児

期	第1期							第2期							第3期							
月	4			5				6			7				9			10				
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
幼児の姿	☆入園の期待と戸惑いがあり、保護者から離れにくく、保護者との関わりの中で徐々に園生活に慣れてくる。 ☆基本的な生活習慣は、個人差が大きく、ほとんどの幼児が保育者の援助を必要とする。							☆園生活のリズムに慣れ、安定した生活が送れるようになってくる。 ☆生活習慣では、援助があれば自分の身の回りのことや、皆と一緒に生活する場の準備や片付けができるようになる。							☆休み明けで園生活のリズムが取り戻しにくい幼児もいるが、好きな友達の中で徐々に取り戻すことができる。 ☆身の回りの始末は大体できるが、友達の様子を気をとられ時間のかかる幼児もいる。							
ねらい	☆保育者や友達と親しみ園生活に慣れ、安心して過ごす。							☆園生活の仕方が分かり、いろいろな活動に取り組み満足感を味わう。							☆活動に精一杯取り組みながら、自分でできる事は自分でしようとする。							
内容	☆保育者をなかたちとして友達にまじって、自分の好きなもので安定して遊ぶ。							☆幼稚園での生活の仕方が分かり、保育者や友達といろいろな活動を充分に楽しむ。							☆保育者や友達のしていることに興味を持ち、自分から関わっていく。							

4 歳児

期	第6期							第7期							第8期							
月	4			5				6			7				9			10				
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
幼児の姿	☆新しい生活、保育者や友達に関心を示し期待をもったり、入園の不安はあるが、保育者の側にいることで安定し、友達とかかわりをもつようになる。							☆クラスの友達にも慣れ、自分の好きな遊びを見つけ遊ぶようになってきたが、遊具の取り合いや意見が合わなかったりしてトラブルがおきてきたりする。							☆夏休み明け、友達との再会を喜び、1学期に経験した遊びを楽しんでいる。 ☆戸外での遊びを好み、友達や保育者と一緒にしようとする。							
ねらい	☆園生活に慣れ、保育者や友達に親しみをもち、一緒に遊ぶことを楽しむ。							☆好きな遊びを見つけ、存分に遊び楽しさを味わう。							☆友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。							
内容	☆園生活の仕方がわかり、保育者や友達とふれあう。							☆自分の好きな遊びを見つけ、保育者やともたちとかかわって遊ぶ。							☆運動遊びに進んで取り組み、友達と一緒に楽しむ。							

5 歳児

期	第11期							第12期							第13期							
月	4			5				6			7				9			10				
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
幼児の姿	☆年長組になったことを喜び、何でも一人でやれたがったり、保育者の手伝いや年少児の世話をしようとする。新しい環境にとまどいを感じ、不安な様子も見られる。							☆友達から刺激を受けて、自分なりに試したり、工夫したりしながら遊びに取り組みようとする。 ☆遊びに対する考え方の違いからトラブルがおき、遊びが中断したりする。							☆体を動かして遊ぶことを好み、自分なりの目的を持って、頑張ろうとする気持ちが高まってくる。 ☆友達同士の力関係などトラブルもあるが、自分達で解決しようとする。							
ねらい	☆年長組になった喜びをもち、進んで遊びや仕事に取り組み。							☆同じ目的をもった友達と相談して、いろいろな遊びに取り組み。							☆戸外で十分に体を動かし、友達と挑戦したり、競い合ったりして遊ぶ楽しさを味わう。							
内容	☆気のあう友達や保育者とかかわりながら、遊びを楽しむ。							☆いろいろな遊具や用具、素材を使って遊ぶ楽しさを味わう。							☆自分なりの目標をもち、工夫したり、挑戦したりして、遊びを楽しむ。							



第4期						第5期						期							
1 1			1 2			1		2		3		月							
23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	週
<p>☆保育者や友達に自分の思いや考えを話せるようになり、遊びが活発になってくる。保育者が関われば、ある程度持続して遊ぶ姿が見られる。</p> <p>☆自分の身の回りのことは自分でしようとするようになる。生活の中でみんなですること分かり、保育者の言葉かけにより取り組もうとする。</p>						<p>☆生活の中での出来事や経験したことを、よく話すようになり、いろいろな遊びの経験をしながら友達とのつながりもできてくる。</p> <p>☆生活の仕方や約束が理解できるようになり、守ろうとする気持ちの芽生えが見られ、年中組に進級することに期待をしている幼児が見られる。</p>						幼児の姿							
<p>☆保育者や友達と一緒に、自分を表現する楽しさを味わう。</p>						<p>☆積極的に活動する中で、生活に必要なことを自分なりにすることができ喜びを味わう。</p>						わらい							
<p>☆保育者や友達とふれあいながら、自分の思いや考えを様々な方法で表現する。</p>						<p>☆遊びや生活に必要なことを自分なりにやってみる。</p>						内容							

第9期						第10期						期							
1 1			1 2			1		2		3		月							
23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	週
<p>☆運動遊びに興味を持ち、挑戦して友達と遊ぶようになってきた。トラブルがおきたときは、保育者の援助を受け自分たちで解決しようとする。</p>						<p>☆友達と一緒に遊びを進めながら、楽しくするために考えたり工夫したりする。また、遊びの簡単なルールがわかるようになり、持続して遊べるようになる。</p> <p>☆年長組になることへのあこがれや期待が感じられる。</p>						幼児の姿							
<p>☆友達とイメージを出し合いながら、遊びを進めていく楽しさを味わう。</p>						<p>☆自分の考えを伝えたり、友達の考えを受け入れたりして、協力しながら遊びを進めていく。</p>						わらい							
<p>☆友達と同じ目的に向かって、考えを出したり、表現をしたりして一緒に遊びを進めていく。</p>						<p>☆いろいろな遊びに興味をもち試したり、工夫したり、挑戦したりして取り組む。</p> <p>☆したいこと、してほしいことを自分なりに表現する。</p>						内容							

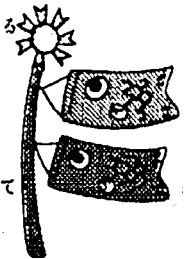
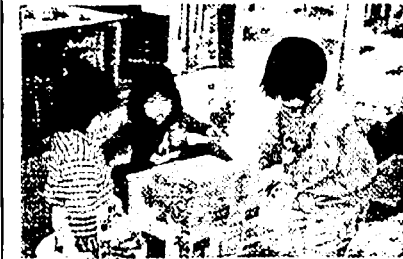
第14期						第15期						期							
1 1			1 2			1		2		3		月							
23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	週
<p>☆いろいろな遊びを通して、友達よさに気づくようになり、仲間意識も高まっていく。</p> <p>また、教えあったり、助け合ったりする姿もみられるようになる。</p> <p>☆自分たちが中心になって取り組むことに喜びを感じ、進んで取り組むようになる。</p>						<p>☆いろいろな遊びやルールのある遊びを通して、友達と協力して遊びを進めていく楽しさが感じられ、遊びに広まりや深まりが見られるようになってくる。</p> <p>☆もうすぐ就学という自覚が生まれ、自分たちの遊びを十分に楽しみ、年長児らしい積極的な姿がみられる。</p>						幼児の姿							
<p>☆グループや学級の友達と共通の目的に向かって、イメージを出し合いながら遊びに取り組む、充実感を味わう。</p>						<p>☆友達と相談したり、工夫したりしながら、自主的に遊びを進め、充実した園生活を楽しむ。</p>						わらい							
<p>☆友達と相談したり、役割を分担したりしながら、協力して遊びを進める。</p>						<p>☆学級やグループの中で、役割を受け持って活動に取り組む。</p> <p>☆入学に向けて期待を持って生活する。</p>						内容							

4月の指導計画（3歳児）

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<p>☆初めて集団生活をする幼児が殆どで、保護者と一緒に登園するが離れられず泣いたり、泣いている幼児を見て、自分も泣きたず姿も見られる。また、保育室に入ってもじっとしているなど、どの幼児にも多少なりとも戸惑いや緊張が感じられる。一方では、新しい環境に接し、好奇心にかられてがむしやらに行動している姿も見られ、適応については個人差が大きい。</p> <p>☆保育者を保護者のように頼り、どんなことでも手助けを必要とする。保育者に頼ったり年長児に世話してもらったりしながら、園の環境に慣れ、生活の仕方が分かってくる。保育者や知っている友達がいることで安定し、興味のある遊びをしたり、友達と遊ぶ姿を傍観したりしながら、行動範囲を広げていく。</p> <p>☆喜んで登園し、いろいろな遊具を使ったり、いろいろな場所に行ったりして遊ぶ幼児もいる。友達と遊具の取り合いなどのトラブルがあり、集団の中では自分の思い通りにならないことがたくさんあることを経験する。友達というものがよくわからず、一人で遊ぶ幼児と、友達を求めて遊ぶ幼児の差が大きい。</p>	<p>◎保育者や園に親しみをもち、喜んで登園する。</p> <p>◎自分の好きな遊びをする。</p> <p>◎園生活の仕方を知り、安定して過ごす。</p> <p>◎身の回りのことを、保育者と一緒にする。</p>	<p>◎保育者や友達を知り、触れ合ったり、一緒にいることで親しみをもち、</p> <p>◎自分の気に入った遊びをする。</p> <p>◎園での生活の仕方を知り、安心して過ごす。</p> <p>◎春の自然や小動物に触れて、親しみをもち遊ぶ。</p> <p>◎保育者に手伝ってもらって、身の回りの始末をする。</p>

環 境 構 成 ・ 援 助 ・ 配 慮

<p><b>おかあさんと いっしょがいいよおー</b></p> <p>★一人一人を温かく迎え、保育者と親しみがもてるように、スキンシップを多くもったり、声かけをしたりして、緊張感をやわらげていくようにする。</p> <p>★新しい生活に期待を持っているが、反面不安もあり泣く幼児もいる。保育者との温かいかわりの中で徐々に心を聞き、してほしいことを表情、態度、言葉などで伝えられるようにする。</p> <p>★毎日の生活の中で、簡単なあいさつを交わす。</p>	<p><b>もっと おさんばに いきたいな!</b></p> <p>★春の心地よい日差しや自然に触れられるように子ども達を戸外へ連れ出してみる。</p> <p>★子ども達と一緒に園庭で花壇の花を見たり、春の草花をさがす。タンポポ・クローバー・シロツメクサ・オオバコなどを摘んで、きれいな紙やリボンをつけてラッピングして部屋に飾ったり、ままごと遊びの材料など摘んだものを使って遊ぶことを知らせる。</p> <p>★それぞれの幼児の要求が満たされるように、保育室だけでなく、園庭にテーブルや容器を用意し、草花を使ったままごと遊びができるようにしておく。</p>
<p><b>いっぱい あそぶのがあるね!</b></p> <p>★なじみのある遊具を置く。(ぬいぐるみ・ブロック・ままごと道具)</p> <p>★一人一人がゆったりと遊べるように、ロッカー・絵本棚を使ってコーナーをつくる。</p> <p><b>どうやって するの?</b></p> <p>★身の回りのことについて、保育者と一緒にやろうとするが、うまくできないとすぐあきらめてしまうので、保育者は温かい表情・態度で接し、園生活の仕方をその都度手をとって、繰り返し知らせるようにする。</p> <p>★身の回りのことを自分なりにしようとする、自分ですたい、してみたいという気持ちを尊重し、できないところは手助けしていく。できた事をほめたり、認めたりしながら、個々の状況に応じて援助し、園生活のリズムに慣れさせ習慣づけていくようにする。</p>	<p><b>かわいいね! たべたよ!</b></p> <p>★どの子も小動物に親しみがもてるように、ユサを準備しておいたり、家庭から持ってきたエサがあげられるようにしておく。</p> <p>★飼育小屋の中に入りたい子は入れてやり、小動物と触れ合いができるようにする。</p> <p><b>こいのぼりだ!</b></p> <p>★幼児達の目にふれやすい所に、用具・材料を準備しておく。</p> <p>★製作コーナーをつくっておく。</p> <p>★のりやはさみの使い方を教える。</p> <p>★持ち方や切り方が不十分な幼児には、手をとって知らせていく。使ったはさみのしまい方や、人への渡し方についても具体的に知らせていく。</p>



生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映写	行 事
<p>園生活の仕方を教える。</p> <p>★所持品の始末。</p> <p>★トイレや手洗いの仕方。</p> <p>★挨拶や定歩をする。</p> <p>★みんなと一緒に集まる。</p> <p>安全な登降園の仕方を教える。</p> <p>★決められた時間に登降園する。</p> <p>★交通のきまりを守る。</p> <p>★寄り道しない。</p>	<p>★保護者会・家庭訪問について</p> <p>一人一人を理解するために、家庭調査票・家庭訪問を手がかりに、幼児と保育者、親と保育者などの関係性を結ぶきっかけをつくっていく。</p> <p>★園だより・クラスだよりについて</p> <p>初めて子どもを入学させる保護者の不安を取り除くために園の教育目標や主な行事などをわかりやすく伝える。また、園での遊びの様子など具体的な姿についても知らせる。</p>	<p>絵 本 *本々るんばのようちえん *いよいよえん *アンパンマンシリーズ *ノンタンシリーズ 紙芝居 *ムーミンなどの交通安全シリーズ など</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>*チューリップ *先生とおともたち *ちようちよう *あくしゅでこんには *かごめかごめ *赤・青・黄色 など</p>	<p>★保護者会</p> <p>★運動式</p> <p>★入園式</p> <p>★交通安全指導</p> <p>★身体測定</p> <p>★健康診断</p> <p>★家庭訪問</p> <p>★誕生会</p>

5月の指導計画（3歳児）

幼児の姿	ねらい	内容
<p>★保育時間が少しずつ長くなり、園生活のリズムにも慣れてくる。登園時、保護者となかなか離れられなかった幼児も、次第に園生活の仕方が分かり、一人で保育室に入っていけるようになる。逆に今まで調子よく、園生活に慣れてきていたと思っていた幼児が、連休明けからくずったりする。</p> <p>★砂遊びを好む幼児が多くなるが、同じ場で遊んでいても、それぞれのイメージで遊んでおり、自分の思いがうまく伝えられなかったり、あるいはまったく自分ひとりの世界の考えで行動したりするので、他児とのトラブルが多い。また、自分のつくったものを保育者に認めてもらおうと一対一のかかわりを求めてくることが多い。保育者が一緒なら、今まで遊んだことのない友達とでも過ごせるようになる。</p> <p>★クラスの友達を認識し始め、名前を覚えたことがうれしくて友達の名前を呼んでみたり、遊びの中のちよつとしたことがきっかけで、仲良くなった友達と一緒に行動したりすることを喜ぶ。周りに目が向くようになり、友達のことを見てることが気になり始め、自分もしてみようとする子どもがいる。</p>	<p>◎自分の好きな遊びを見つけ、自分なりに楽しむ。</p> <p>◎同じ場所で遊んでいる友達や、同じ遊びをする友達に親しむをもつ。</p> <p>◎水・砂・土などに充分関わって遊び、楽しさを知る。</p> <p>◎保育者と一緒に遊んだ場を片づける。</p>	<p>◎保育者に見守られながら、友達の名前を覚えて一緒に楽しむことで安心感をもって遊ぶ。</p> <p>◎同じ場にいる友達や、同じ物を持っている友達と触れ合って遊ぶ。</p> <p>◎身近な道具や用具に親しむ。</p> <p>◎水・砂・土に触れ、その気持ちよさや面白さを味わう。</p> <p>◎自分が使ったものは、自分で片づけようとする。</p>

環境構成 援助 配慮

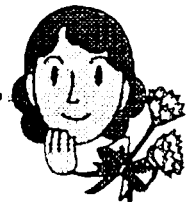
うわぁ！ ひろいなぁー

- ★保育者は、幼児たちをどろんどろん戸外へ連れ出し、汗をかき気持ちよさを味わわせる。
- ★異年齢の子とも達の中で、一緒に遊びたい幼児と手をつないでもらい、園庭で遊ぶ。
- ★気持ちのよい天気の下、4歳児・5歳児のまねをして、走ってみようとする。
- ★体を動かす遊びを好み、戸外の道具にも関心をもってくるので、戸外遊びを多くして緊張をほくすようにする。
- ★チヨウやテントウムシ、バッカが見られるようになってくるので、虫かごや網を用意しておく。



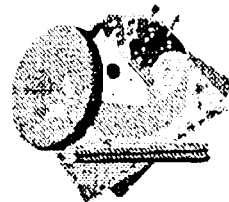
おかあさん いつも ありがとう

- ★田の日を知らせ、感謝の気持ちをもてるようにする。
- ★幼児の素直な気持ちが伝わるように、保育者は幼児のイメージするものを一緒に作ったり、探したりして、手助けしていく。
- ★お母さんの絵をかきたい幼児には、画用紙にかいたものを丸めて、リボンで止める。または、円い紙皿にかいて、リボンを結ぶと型かけになる。
- ★小石などをきれいな紙に包んで、持ち帰る幼児もいる。



おべんとうのじかん まあだ？

- ★お弁当の時間は、楽しい雰囲気作りに気を配る。（テーブルクロスをかけたリ、音楽を流したりする）



あそんでいいの？

- ★穴掘り、型抜き、だんご作りなどを通して砂の感触を十分に楽しませる。
- ★保育者と幼児はもちろん、幼児同士のコミュニケーションの場にもなるようにする。声をかけたり、ときには、仲介役になったりして、幼児の表情、態度を十分受け入れていく。
- ★スコップ、バケツ、じょうろ、小型シャベル、大小空き容器を十分用意しておく。
- ★足洗い場のそばに、足ふきマット（バスタオルを縫い合わせたもの）を準備し、こまめに取り換える。



生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映写	行事
<p>園生活のきまりを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*遊具はみんなで仲良く使う。</li> <li>*遊んだものは元の場所へ戻す。</li> </ul> <p>遠足（園外）での約束を守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*集団のきまりを守る。</li> <li>*安全のきまりを守る。</li> </ul> <p>おやつ・弁当の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*食事の準備・片付けと食事の仕方。</li> <li>*歯みがきの仕方。</li> </ul>	<p>*お弁当についてはじめは子どもの食べる様子を見ながら量を調節してもらい、全部食べることができた満足感を味わえるようにしてもらう。</p> <p>*PTA親子作業について 幼児の生活する姿を通して、教育のねらいや内容の理解や園の環境作りに協力を求める。</p>	<p>絵本 *おおかみと7匹のこやぎ *3びきのこぶた *赤ずきんちゃん など</p> <p>紙芝居 *しつけシリーズ</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>*むすんでひらいて *おべんとうばこのうた *てをたたきましょう *ねずみの歯みがき *こいのぼり *ちんくわーんとうふんまあさん</p>	<p>*春の遠足 *体育館使用開始 *絵本貸し出し開始 *PTA親子作業 *誕生会</p>

6月の指導計画（3歳児）

幼児の姿	ねらい	内容	
<p>☆一応、園生活にもだいぶ慣れて登園時保育室に駆け込んで来たり、登園してすぐそれぞれに好きな遊びにかかわったりするなど、ほとんどの幼児が喜んで登園してくるようになる。</p> <p>☆行動範囲が広くなり、自分から「へ行ってくる」「～してくる」と目的をもって遊びの場を運んだり、好奇心一杯で園内のあちこちを探索したりするなど自分から好きな場へ自由に行けるようになる。</p> <p>☆年中・年中組と同じ場所で同じ遊びをしたがり、まねをしようとする。また、友達とのふれあいを通し、友達を求める姿が見られてくるが、だんだんと自分を出すようになり、友達とトラブルを起こす。その中で思いどおりにならないことがあるということがわかってくる。</p> <p>☆オタマジャクシやカタツムリなど、その時期に増える小動物に興味をもつ。動きをじっと見たり触って遊んだり、餌をやったりしながら関心をもつ幼児が増えてくる。</p> <p>☆雨の日に乗をさして園庭へ出ることを喜ぶ。</p>	<p>◎保育者や友達に親しみをもち、園生活の楽しさを知る。</p> <p>◎身近なものに関心をもって関わったり、好きな遊びを見つけ、すすんで遊ぼうとする。</p> <p>◎自分の持ち物など、身の回りの始末を自分でしようとする。</p>	<p>◎保育者や友達と共に触れ合ったり、一緒に遊んだりする楽しさを味わう。</p> <p>◎カッパを着て園庭を歩いて小動物を探したり、保育者と一緒に大事に育てるなどして雨の日に戸外で遊ぶ楽しさを知る。</p> <p>◎身近な所にも、危険があることを知る。</p> <p>◎園生活のきまりがわかり、自分のできるとことは自分でしようとする。</p>	
<p>環境構成</p>	<p>援助</p>	<p>配慮</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="124 471 538 728">  </div> <div data-bbox="559 471 1015 728"> <p style="text-align: center;"><b>ようちえんたんけん やってみよう!</b></p> <p>☆自分の部屋から、なかなかでられない幼児もいるので行動範囲が広がっていくように、「たんけん」と名づけ、園舎内の探検に誘ってみて、園内どこでも行ってみて、遊んでもよいことを知らせていく。ようちえんたんけんをしたことで、積み木や巧技台の存在を知り、遊びだすようになる。</p> <p>☆梅雨の時期はなかなか戸外では遊べないので、遊戯室で大型積み木、巧技台、などを使って、体を十分動かせるようにし、活動できるように、保育者が進んで動くようにし、幼児たちを誘っていくようにする。</p> </div> </div> <p>★保育者も子ども達と一緒に、遊びにくかったり、作りにくいところは手助けをする。</p> <p>★道具を使うときには、乗れる人数や順番を守らせ、みんなが気持ちよく遊べるようにするためのルールであることを伝えていく。</p> <p>★友達と触れ合ったり、話をする機会が多くなるように、保育者が仲立ちをする。また、みんなで使う部屋であることや片づけの仕方などを知らせていく。</p> <p>★年中・年長児のしている大型積み木の遊びに入れてもらう。自分たちのイメージや年中・年長児たちのイメージも大切に、両方の意見が生かしていけるよう、援助していく。</p> <p>★年中・年長児がしているのを見てまねをしたがるので大型積み木や巧技台の下に、マットを敷き、けがを防止できるようにしておく。感覚がつかめない幼児には手をかし、降りるまで手を離さないように伝える。</p> <p>★天気の良い日は、元気に遊べるよう、保育者も一緒に戸外に出るようにする。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1056 471 1326 728">  </div> <div data-bbox="1056 742 1326 1056">  </div> </div> <p style="text-align: center;"><b>あめふりたんけん おもしろいね!</b></p> <p>★雨上がりに園庭に出かけ、この時期によく見られる小動物（カタツムリ、オタマジャクシ、カエルなど）を幼児と一緒に探す。</p> <p>★水たまりに入ってみたり、雨のしずくに触れたりして、雨の不思議さに気づかせていく。</p> <p>★カタツムリ、オタマジャクシ、カエル、タンゴムシ、ザリガニなど、見たり触れたりする機会が多くなるように、戸外に探しに出かけたり、飼育ケースの中で飼ったりして、興味をもてるようにする。</p> <p style="text-align: center;"><b>おとうさん おしごと がんばってね</b></p> <p>★父の日も近づき、お父さんに対する気持ちをもち、プレゼントを作りたい幼児には、イメージするものが作れるよう、手助けをしていく。例えば、紙のネクタイ（色紙を好きな形に切り、模様にしてつけるなど）</p> <div data-bbox="1554 742 1926 1056">  </div>		
<p style="text-align: center;">生活習慣</p> <p>梅雨時の安全な生活の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*安全な遊び方を知る。（室内・戸外）</li> <li>*安全に登降する。</li> </ul> <p>火災時の安全な避難の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*火事の怖さを知る。</li> <li>*避難訓練の約束を守る。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">家庭との連携</p> <p>*親子運動会について</p> <p>親子で遊ぶ機会を設け、望ましい親子関係について共に考える機会とする。</p>	<p style="text-align: center;">絵本・紙芝居・映写</p> <p>絵 本 *おたまじゃくしの101ちゃん *おしゃべりなオたまじゃくし *はくばくガジュマル</p> <p>紙芝居 *虫歯の予防 など</p> <p style="text-align: center;">歌・リズム・体操</p> <p>*あめふり *かえろのうた *ンチャポンたま</p> <p>*かたつむり *朝顔コリヤコリヤ *あーみーまーよ など</p>	<p style="text-align: center;">行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*梅の命生週間</li> <li>*親子運動会</li> <li>*プール使用開始</li> <li>*避難訓練（火災）</li> <li>*園外保育</li> <li>*誕生会</li> </ul>

7月の指導計画（3歳児）

幼 児 の 姿	わ ら い	内 容
<p>☆むし飼いのためにいろいろな水遊びが盛んになり、楽しんでかわる。砂や水にかかわる遊びがダイナミックになり、存分にかかわりながら満足感を味わう。又、といやホース等を使っていろいろ自分なりに試すことにもおもしろさを感じてくる。プール遊びでは水に対する不安感をもっている幼児もいるが、保育者や年長児に手順を教えてもらいながら、次第に慣れてきて、宝物ひろいや動物のまわっこをして水の中で遊ぶ楽しさが分かってくる。またプール遊びの準備は喜んで行い、一人でできる事に満足したりする。</p> <p>☆降虫時刻になっても遊びをやめず、いつまでも遊んでいようとし、周囲に積極的に働きかけはじめる。</p> <p>☆セミなど虫とりに興味をもつ幼児が多くなるが、うまく捕まえることができず、保育者に捕まえてもらったり、年長児のとった虫をもらって満足する。</p> <p>☆夏野菜の収穫を楽しみにする。最初興味はなかった幼児も自分が収穫できたことに非常に喜び、生長の持ちどおしさや大きく実ったり色付いたりする変化を感じる。</p>	<p>◎好きな遊びに心ゆくまで取り組み、満足感を味わう。</p> <p>◎夏の昆虫や夏野菜など身近な夏の自然を感じる。</p> <p>◎園での生活の仕方がわかり、自分でできることは自分でしようとする。</p>	<p>◎いろいろな水遊びに興味をもち、全身でかかわって遊ぶ。</p> <p>◎身近にいる昆虫に興味をもち、とったり触れたりする。</p> <p>◎生長の持ちどおしさや、大きく実ったり色付いたりする変化を感じながら夏野菜の収穫を楽しみにする。</p> <p>◎自分の身の回りのことを自分でしようとする。</p>

環 境 構 成 ・ 援 助 ・ 配 慮

きゅー プールだ！

★プール遊びは初めてなので、プールでの遊び方やきまりをひとつひとつ具体的に知らせていくようにする。

★水を怖がる幼児には無理をせず、少しずつ足→おしり→おなか→肩と、徐々に慣れるよう促していく。

★途中に休憩を入れたり、顔色を見て、負担にならないようにする。

★ぬれた体や髪をふくことを知る。衣服の着脱はできにくい幼児も多く、手を貸すようにし、そのつど着脱の方法、脱いだものの始末の仕方を具体的に知らせていく。

★家庭との連絡を密にし、健康状態をしっかりと把握する。

みずあそび だいすき！

★保育者が絵の具を水にといておき、いろいろな色水やペットボトルやカップなどの用具を充分準備し、色水に触れさせる。

★戸外でも色水ができることを知り、色水に使ってもよい。

★花のフロンターを近くに置いておく。

★花や水、土、砂などを使って遊ぶように、廊下にテーブルなどを出す。



シャボンたま いっぱい できた！

★シャボン液はあらかじめ用意しておき、ストロー、コップなどの用具を、充分に用意しておく。

★さまざまなことに好奇心を持ってかわるようになるので、生活や遊びの中で見たり触れたり試したりする喜びを味わわせる。

★自己主張をするようになり、友達とぶつかり合うことが多くなる。それぞれの主張や気持ちを出させながら友達とのかかわり方を知らせていく。

★液を飲み込まないように注意を配り、子ども達には、あまり上を向いて吹いたりしないように話していく。



いっぱい とりたい！

★セミ、バッタ、カブトムシなどに触れたり、動く様子を見たりして、興味をもたせるようにする。

★命ある生き物であることをそのつど知らせ、楽しくかわっているように話していく。

★持ち歩ける虫かご、飼育ケース等と一緒に作ったりして用意しておく。

おおきくなっているよ！

★最初興味はなかった幼児にも自分も収穫ができることで気づかせていき、生長の持ちどおしさや、大きく実ったり色付いたりする変化を感じながら夏野菜の収穫を楽しみにする。



なにを おねがいしようかな？

★幼児の願いを短冊に書いてあげる。（～をください、～になりたいなど）

★色紙などを使って、保育者と一緒に飾りを作っていくようにする。

★幼児たちの自由な発想を大切にしていく。（広告紙の中からほしいおもちゃなどを切りぬいて、飾りにするなど）



生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映画	行事
<p>プール遊びの仕方を知る。</p> <p>★水に慣れる。</p> <p>★水の危険性を知る。</p> <p>★プールでの約束を守る。</p> <p>衣服の着脱をする。</p> <p>★服が汚れたり汗をかいたりしたら、着替えることを知る。</p> <p>夏休みについて知る。</p> <p>★夏休みの過ごし方について知る。</p>	<p>★夏休みの過ごし方について。</p> <p>★長期の夏休みの生活では、健康管理や親子との触れ合いなどの家庭での過ごし方や生活習慣について家庭で指導してほしいことなどを具体的に知らせる。また、今までの例の様子を伝え、悩みなどがあれば話し合ったり、子どもの成長をともに喜び合う。</p>	<p>絵 本★スイミー *どんくまさんみなみのしまへ *パーパババシリーズ *タンタンシリーズ 紙芝居★七夕のおはなし など</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>*たなばたさま *やっほっほっ夏休み *せみ *すいかの名産地 *お化けなんてないさ *あめふりしていーち など</p>	<p>*園外保育 *誕生会 *顔人面談 *一学期終業式</p>

9月の指導計画（3歳児）

幼児の姿	ねらい	内容
<p>☆2学期、ほとんどの幼児は再会がうれしく、また保育者や同年齢の友達同士、好きなお兄さん、お姉さんたちと遊ぶことを楽しみに喜んで登園してくる。1学期にしていた遊びをする幼児が多く、好きな所、好きな遊び、好きな友達の中に入って行くことで、園の生活リズムを取り戻すことができる。</p> <p>☆長期の休み明けでリズムがなかなか戻らず、ぐずったりして情緒が不安定になったり、ときどきぼんやりしていたりして保育者を頼りがちな幼児もいる。</p> <p>☆残暑がきびしく、あいかわらず水遊びにかかわることが多い。暑さに負けず、戸外で体を動かして遊んでいる幼児もいる。</p> <p>☆ソテツの実・アダンの葉・マツボックリ・ススキなどの、木の実・木の葉の色や形、大きさなどに興味をもち、大事に集めたり、ままごとしたり、それらを使って作って遊んだりして楽しむ姿が見られる。</p>	<p>◎喜んで登園し、園生活のリズムを取り戻す。</p> <p>◎草木や昆虫などの身近な自然に触れ、秋の訪れを知る。</p>	<p>◎保育者や友達との再会を喜び、一学期に経験した遊びなどをしながら、生活のリズムを整えていく。</p> <p>◎秋の虫を捕まえたり、木の実・木の葉あつめを通して、身近な秋の自然に興味・関心をもち、触れて遊ぶ。</p>

環境構成 援助 配慮

うみにいったよ!

- ★夏休みのことについて話したり、スキンシップを多くもったりして、情緒の安定を図る
- ★夏休みの楽しい思い出を再現しながら、友達とかかわれるきっかけをつくっていく。また、そのことによって、園生活のリズムをはやく取り戻せるようにしていく。

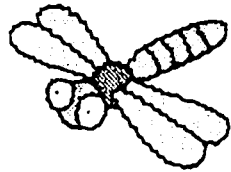
★保育室・廊下などで、子ども達のイメージが広がるような構成にしてみる。

★生活習慣の基本的な部分を自分でしようとするが、「これでいい」「できない」などを自分で納得するまでに時間がかかるので、余裕を持ってかわかり、自分でやり遂げる喜びを味わわせたい。



びしょびしょになっても へいきだよ!

★1学期に怖がって水になかなか入れなかった幼児も夏休みの間に少しずつ水に慣れてきている。そこで、できるようになったことを認め、自信をもたせるようにする。



せみ いないね? とんぼが いっぱい!

- ★トンボ、バッタ、コオロギ、カナブン、コガネムシなどを捕まえ、興味をもつ。
- ★観察ケース、虫かごを準備しておく。

まつぼっくり みつけたよ!

- ★園外保育で近くの公園に、ソテツ・アダン・マツボックリ・ススキを見つげに行く。
- ★年長組と手をつないで、交通ルールを守って歩くことにも気をつけさせ、楽しく園外保育に行く。
- ★公園では、気の合った（好きな）お兄さんやお姉さん、友達と一緒に、ソテツ・アダン・マツボックリ・ススキを探す。後日、そのソテツ・アダン・マツボックリ・ススキは使うので、園に置いておくものがあってもよい。
- ★祖父母参観では、子ども達に祖父母や地域のお年寄りへお手紙を出して園に招待し、お年寄りの子どもの頃の話を聞いたり、子どもの頃の遊びを一緒に遊んだりできるよう、木の実や木の葉で、楽器やアクセサリが作れるよう材料・用具を充分準備しておく。



- ★拾ってきた木の実や木の葉をままごとの材料に使ったり、同じ色ごとの葉に分けて、台紙にはったりして、美しさに気づかせていく。
- ★秋の自然が感じられる戸外で、遊びの場を構成してみる。園外保育で拾った木の実や木の葉を使って、みんなが楽しめるものを作ってみようとする。
- ★素材が扱いにくいのは、安全面に注意をする。
- ★3歳年齢でのかかわりも深まっているときには、年中組や年長組のしている遊びをまねて、することもあられると思われるので、遊びと一緒に入れてもらうようにする。



生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映写	行事
<p>園生活リズムを取り戻す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*園生活の仕方を再確認する。</li> <li>*幼稚園のしまりを再確認する。</li> <li>地帯時の安全な遊遊の仕方を知る。</li> <li>*地震の怖さを知る。</li> <li>*避難訓練の約束を守る。</li> </ul>	<p>*2学期スタートにあたって夏休み明けには、休み中の幼児の健康の様子や生活の仕方、エピソードなどを聞き、幼児の遊びのイメージをくみとる際の参考とする。</p> <p>*祖父母参観について子ども達に祖父母や地域のお年寄りへお手紙を出して園に招待し、お年寄りの子どもの頃の話を聞いたり、一緒に遊んだりできるよう、子ども達の祖父母や地域のお年寄りとふれあう場をつくる。</p>	<p>絵本 *つきよ *だんごっこいしよ *くりとくらシリーズ *かえるのつなひき 紙芝居 *かめくん大丈夫 (地震に関するもの) など</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>*とんぼのめかお *まつぼっくり *こおろぎ *大きな栗の木の下で *おじいさんのおとし *じんじん など</p>	<p>*1学期始業式 *誕生会 (8月生まれ) *身体測定 *祖父母参観 *避難訓練 (地震) *十五夜 (お団子づくり) *園外保育 *誕生会</p>

10月の指導計画(3歳児)

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<p>☆年長児の遊ぶ様子を見たりしながら、かけっこや、玉入れ、綱引きなどに興味をもつ幼児が増えていき、自分なりに試したり参加したりして満足感を味わう。又、あまり興味をもっていなかった幼児も運動会を機会に友達と一緒に走ったりする楽しさが分かってくる。</p> <p>☆体を動かして遊ぶことが多くなり、かけっこやリレーなどを通して耐落を待つ体験をしたり、共同の遊びを友達と一緒に使ったりする中で常に自分の思い通りにはならないことを感じていく。</p> <p>☆リズム・カルな曲に合わせて踊ることを好み、何度も繰り返し踊って楽しむ。</p> <p>☆あそびが活発になり一つの遊びに集中しある程度持続して遊ぶ姿が見られてくる。同時に友達とのつながりもできてくる。</p> <p>☆身の回りのことや遊びに対して、自分からしようと、できたことに喜びを感じるようになる。</p>	<p>◎いろいろな運動的な遊びに興味・関心をもつ。</p> <p>◎音楽を聴いたり、歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりして親しみをもつ。</p> <p>◎みんなで行動し、力を合わせることの大切さを知る。</p>	<p>◎かけっこ・玉入れ・つなひきなど、いろいろな運動的な遊びに自分なりに体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>◎好きな歌を歌ったり、親しみのある曲に合わせて踊ったりする楽しさを味わう。</p> <p>◎戸外でみんななどのびのびと体を動かして遊ぶことの楽しさを感じる。</p>

環 境 構 成 援 助 配 慮

よーし いっとうしようだ!

- ★はじめて、いろいろな運動遊びにかかわる幼児が多いので、年中児や年長児の遊びの中に加わって、一緒に遊びながら楽しむようにする。
- ★年中児、年長児のしている様子を見ながら、ルールや走り方に気づかせるようにしていく。(用具の台図でかまえて、笛が鳴ってからスタートすること、まっすぐ走ることなど)
- ★ルールやゲームのやり方を、年上の幼児たちに教えてもらったり、玉入れごっこをより興味をもてるようにする。(新聞紙を丸めて玉にし、かごに投げ入れるゲームなどをする)



- ★ハードルをくぐらせたり、マットを敷いてみたりなどの障害物を入れ、変化をつけて楽しくする。運動能力の発達にもつながっていく。
- ★最後までがんばって走ることや、みんなで力を合わせてがんばることの大切さを知らせていく。一生懸命しているところをほめ、これからの意欲につなげていく。
- ★「いっしょ」「みんな」というような集団の中でよく使う言葉を理解してくる。それを自分でも使ったり、保育者の言葉による指示で行動したりして、友達と共に過ごす楽しさを味わわせていく。
- ★服が汚れたり汗をかいたりしたら着替え、衣服の着脱、脱いだ服の始末を、自分一人でやってみようとする。

いっぱい あそびたいな!

- ★ブランコ、鉄棒、ジャングルジム、うんてい、登り棒などで、不慣れな遊具の場合には、とくに気を配り、子ども達と一緒に遊んでみる。その中で安全な使い方、扱い方を具体的に知らせていく。



- ★年長児のする、縄跳び・跳び箱・竹馬・コロコロ・一輪車を見たり、応援する中でたくさんできることに驚き、お兄さんやお姉さんに教えてもらったり、手助けしてもらったりしながら、仲良く一緒に遊ぶようにする。



- ★挑戦しようとする気持ちを大切にできるよくなったことはおおいにほめたり、認めたりしていき、自信がもてるようにする。

生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映像	行事
<p>健康で清潔な習慣を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*扇子・ハンカチを使用する。</li> <li>*手洗い・うがいをする。</li> <li>衣服の着脱をする。</li> <li>*服が汚れたり汗をかいたりしたら着替える。</li> </ul>	<p>*PTA親子作業について 幼児の生活する姿を通して、教育のねらいや内容の理解や園の環境作りに協力を求める。</p> <p>*運動会に向けて 運動会に対する園の取り組みや子ども達の活動をなどを詳しく知らせる。身体の成長が著しいので靴のサイズなどを再点検してもらったり、幼児が力一杯遊べるよう体力をつけるためにも、食事、規則正しい生活リズムにも、気を配るように伝える。</p>	<p>絵 本 *とんぼの運動会 *カバマダマ *3びきやぎのからがらどん 紙芝居 *運動会ってたのしいな など</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>*がんばりまん *運動会のうた *ラジオ体操 *運動会のダンス *ふーゆべま など</p>	<p>*PTA親子作業 *運動会(小学校合同) *園外保育 *誕生会</p>

1 1月の指導計画（3歳児）

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<p>★年長児のしている遊びに関心をもち、お店屋さんごっこやゆうれい屋敷など教えてもらったり、助けてもらったりして自分も同じようにしてみようとする姿が見られる。</p> <p>★ごっこ遊びなどで友達と会話を楽しむ姿がよく見られるようになり、お互いに影響し合って言葉が増えてくる。友達を誘ったり、遊びに「やりたい」「いいよ」などのやりとりができるようになる。</p> <p>★好きな遊びをする中で、見立てたり、つもりになったりして遊ぶことが多くなり、ごっこ遊びが増えてくる中で役になりきって遊ぶ幼児が出てくる。</p> <p>★好きな友達ができ始め、仲間意識が強くなり、遊び仲間に「入れる・入れない」ということで、トラブルが多くなっていく。</p> <p>★好きな友達と一緒に行動しようとし、登園を待って遊びの相談をしたり、「昨日の続きをしよう」と誘い合ったりして遊びへの興味が持続するようになる。</p>	<p>◎好きな遊びを充分する中で保育者や友達と一緒に触れ合いをもつ。</p> <p>◎自分の思いを様々な方法で表現したり、保育者や友達とイメージを共有したことに喜びを感じる。</p> <p>◎落ち葉や木枯らしなどの身近な自然を感じ、冬の訪れを知る。</p>	<p>◎好きな遊びに連んで取り組みながら、好きな友達と楽しんで遊ぶ。</p> <p>◎友達や保育者と、共通のイメージをもってごっこあそびを楽しむ。</p> <p>◎満足に行ったり、やさしいパーティーをしたりして、落ち葉や木枯らしなどに気づき、もつすぐ冬がくることを感じる。</p>

環 境 構 成 援 助 配 慮

おみせやさんに いってみよう！

★年長児や年中児のしているお店屋さんに行って、品物を買うことを楽しむ幼児が多い。その反面なかなかひとりでお店屋さんに行けない幼児は、保育者と一緒に行くようにする。また、仲よしの友達と一緒にいったり、年長児に迎えに来てもらう。

★年中・年長児が、お金（紙で作ったもの）と品物を交換している様子を見たことがきっかけで、お店屋さんをしたい幼児が増えてくる。

★お金がいるが、数字・文字は、保育者が子ども達の求めに応じて書く。

★お店屋さんごっこをドレスを着て変身するなど、そのものになりきる遊びを始めるので保育者は見守るようになる。

★変身用のドレスは十分用意しておくようにし、お面作りはイメージを大切にしていく。

★保育者も幼児たちの雰囲気の中に入り込み、一緒に楽しむようにし、子ども達のお店屋さんになった「つもり」の気持ちを大切に、充分満足できるようあまり形にこだわらないようにする。



★仲間意識が芽生え、同じ遊びをすることを楽しむが、自分の思いを強そうとして、トラブルが起こることもあるのでその中で相手の感情にも徐々に気づくようになっていく。

★幼児と保育者がイメージを共有して遊びを盛り上げ、持続できるようにしていく。

★年中・年長児がしたごっこ遊びの中で、興味をもったところを自分たちもまわをしてみ、遊びの中に取り入れ、各段の遊びの発展となるように、発表会へとつなげていく。

おばけやしきがあるよ こわいかな？

★年長児のおばけ屋敷に入れてもらい、興味をもった幼児は、何度も行く。始めは怖がっていた幼児も、仲間に入りたがる幼児は一緒にに入れてもらい、怖がらせる役になったりする。

★年長児のしているおばけ屋敷をまねして、おばけになったつもりを楽しむようにする。効果音を用意して楽しく、より怖さかまし、雰囲気が出る。保育者があまり先走らず、幼児の発想を大切に。



おもい とれたよ！

★おもいを振り、収穫する喜びを感じることができるようになる。

★おもいほりできたら小さなおもいを使って、おもい版などを作ってみる。

★子ども達自身では難しいので、保育者があらかじめいろいろな形のおもい版を作っておき、絵の目でスタンピングできるようにする。



生 活 習 慣	家 庭 と の 連 携	絵 本 ・ 紙 芝 居 ・ 映 写	行 事
<p>安全な避難の仕方と消防署の仕事を知る。</p> <p>★避難訓練の約束を守る。</p> <p>★実際の消防士や消防車を知る。</p> <p>満足（園外）での約束を守る。</p> <p>★集団のきまりを守る。</p> <p>★安全のきまりを守る。</p>	<p>★生活発表会に向けて、発表会に向けて、園の取り組みや子ども達の活動を詳しく知らせる。保育の中で使用する必要な所持品や、活動で使う物など、子ども達がよりよい活動ができるように家庭においても協力や理解を促せる。</p>	<p>絵 本 * おおきなおおきなおいも * おおきなかぶ * しょうぼうじどうしゃじぶた * かばくん</p> <p>紙芝居 * ワンタ君の消防士(消防に関するもの) など</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>* ハスごっこ * 動物のうた(ゴリラの歌など)</p> <p>* やまびこごっこ * 動物園へ行こう * たきび</p> <p>* やさいもグーチャーパー * でーじぬくんかん</p>	<p>* 秋の遠足</p> <p>* 避難訓練(小学校合同)</p> <p>* いもほり</p> <p>* やさいもパーティー</p> <p>* 観劇会</p> <p>* 誕生会</p>



12月の指導計画（3歳児）

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<p>★年長児の劇を見たり、遊びに参加させてもらったりすることで年長児のしていることに興味をもち、自分達もまねて同じようにしてみようとする。</p> <p>★リズム遊びや劇遊びを通して、そのものになりきって遊んだり、自分のイメージで動いたりしながら、大勢の友達と一緒に同じ遊びに取り組むことができるようになり、言葉のやりとりや役になりきって遊びを楽しんでいる。劇遊びなど最初は見ているだけの幼児も繰り返しする中で、自分なりに表現するおもしろさが分かってくる。</p> <p>★発表会でたくさんの方が見に来てくれることを楽しみにし、喜んで歌を歌ったり劇遊びをしたりするが、見てもらうという意味はほとんどなく、それぞれの活動を自分なりに充分楽しんでいる。</p> <p>★掃除、食卓の片づけなどの保育者の仕事を、すすんで手伝おうとする姿が見られる。</p>	<p>◎自分の思ったことや感じたことを自分なりのイメージをもってのびのびと自由に表現し、いろいろなものになりきって遊ぶ楽しさを感じる。</p> <p>◎身近な冬の自然を感じる。</p>	<p>◎自分なりのイメージを膨らませ、いろいろな役になりきって力いっぱい体を動かす。</p> <p>◎音楽を聴いたり、歌ったり、音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ。</p> <p>◎水や風の冷たさなどを感じながら、寒さに負けず戸外で思いきり体を動かして遊ぶ。</p>

環 境 構 成 ・ 援 助 ・ 配 慮

**おもしろいね もっと やりたいな!**

★年長児が、遊戯室についでを置き、ぬいぐるみや指人形を使って人形劇を見せてくれたり、積み木でステージを作り、歌に合わせて踊りを見せてくれる。遊戯室にイスを並べ観客席にして、年少児をお各さんとして呼び入れていく雰囲気をつくっていく。

★子ども達の親しみやすい知っている曲や、好みそうな曲を準備し、歌ったり、手遊びをしたり、踊ったりできるようにする。その子なりに表現できるようにする。

★子ども達が考えたものは大切に、そのイメージしたものが自由に表現できるように、いろいろな素材、用具をそろえておく。保育者も一緒に考えたり、作ったりしながら、楽しさを共感していく。

★子ども達自身の表現を大切に、いろいろな表現や動きを認め、遊びの中からイメージを作り出していこうようにする。

★子ども達の意欲を大切に、まじく参加できるように考えるようにする。

★発表会を通して、人前に出て、大きくなったことを見ってもらうという自覚をもたせ、その喜びを感じさせながら、頑張ろうという気持ちをもたせていこうようにする。



**サンタさんにおねがいたよ**

★クリスマスが近づいていることを知らせ、プレゼントを入れるくつ下を作りたい幼児のためににふれやすい所に、用具・材料を準備しておき、制作コーナーをつくっておく。

★作っているとき、どんなプレゼントがほしいのか聞いたり、クリスマスに関する話をしながら、作りやすい雰囲気をつくっていく。

★自分のイメージを言葉、動作、造形活動などで自由に表現することを楽しむようになるので、思いのままに表現する喜びを味わわせたい。

**おそうじ がんばるぞ!**

★年長児が、洞内を掃除する様子をまねして、自分たちでもしようとする雰囲気をつくる。

★保育者の姿を見て、手伝いたい幼児はエプロンや三角巾をつけ、掃除や片づけをしているのを認めていく。





生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映画	行事
<p>衣服の着脱をする。</p> <p>★衣服の調節をする。</p> <p>★衣服のしまい方を知る。</p> <p>★冬休みについて知る。</p> <p>★冬休みの過ごし方について知る。</p>	<p>★冬休みの過ごし方について、年末年始の冬休みの生活では、様々な人と接したり、挨拶をしたりする機会が多いので、生活習慣について家庭で指導してほしいことなどを具体的に知らせる。</p>	<p>絵 本★あむくろ *うさこのサンタクロース *こうさぎましろのおはなし など 紙芝居★マッチウリの少女 歌・リズム・体操 *あわてんぼうのサンタクロース *お正月 *ジングルベル *きらきら星 *こーじゃーうまくわー など</p>	<p>★生活発表会リハーサル ★生活発表会 ★誕生会 ★クリスマスパーティー（お楽しみ会） ★二期終業式</p>

1月の指導計画(3歳児)

幼 児 の 姿	お ら い	内 容
<p>☆休み明けで、豊岡時に母返から遅れにくい幼児がいたり、剛生活のリズムを取り戻せない幼児がいたりするが、すぐに以前のリズムを取り戻し、安定して遊べるようになってくる。</p> <p>☆冬休みの楽しかった経験や身近な出来事をよく話すようになり、会話を楽しむようになる。また、自分の気持ちや感じたことを話すようになり、相手に伝えて満足する姿が見られ、会話が成り立ってくる。</p> <p>☆お正月遊び、鬼ごっこなど自分の知っている遊びを、保育者や友達と一緒に大勢で遊ぶことを楽しむが、幼児だけでは思うように遊べず、中断したり、遊びが長続きしない。保育者が入りリードして進めていくと簡単なルールのある遊びもできるようになり、それができる自分に満足する。</p> <p>☆保育者がいないと遊びが寂かな場合が多い。</p> <p>☆戸外で元気に遊ぶ幼児も多いが、寒くなるにつれて室内にこもりがちになる。暖かな日は戸外へ出て遊んだり、寒くなると保育室に戻って体を暖めたりと自分で調節する姿が見られる。</p>	<p>◎生活の中での出来事や経験したことを表現する楽しさを味わう。</p> <p>◎絵本や紙芝居に興しみいろいろな言葉に興味をもつ。</p> <p>◎大勢の友達と一緒に同じ遊びをする楽しさを味わう。</p> <p>◎身近な自然現象や変化を感じる。</p>	<p>◎保育者や友達に、身近ないろいろな出来事や経験したことを態度や言葉で表現する。</p> <p>◎絵本や紙芝居などの物語を音で聞いたり、聞いたりして視しめ、言葉のおもしろさや想像することを楽しむ。</p> <p>◎まりつき、こままわし、たこあげ、はねつき、福笑い、カルタ、トランプ、すごろくなどのお正月遊びや単純なルールの鬼ごっこ・かくれんぼにに興味をもち、保育者や友達と楽しく遊ぶ。</p> <p>◎戸外に出て思いきり体を動かして遊び、木枯らし・桜の開花などの自然の現象や変化に気づく。</p>

環 境 構 成 援 助 配 慮

みてよ できたよ!

★冬休みに家庭でしていたお正月遊びに、興味をもつ幼児が多い。またできるようになったことを保育者や友達に見せようとする。

★まりつき、こままわし、たこあげ、はねつき、福笑い、カルタ、トランプ、すごろく、などいろいろ準備し、保育者も一緒に遊びながら、そのおもしろさや楽しさを知らせていく。



★それぞれの幼児が満足いくように、用具を十分準備しておく。順番に使ったり、貸し借りすることもできるようにする。

★手先がちょっとずつ器用になってきているので、こま作り、風作りなどで自分達で作って遊べるようなものやってみようようにしていく。



もちつき べったんこ!

★全園児が遊戯室に集まり、年長児がもちつきをするのを見る。「べったんこ、それ、べったんこ」と一緒に声をかけて、雰囲気を感じ上げるようにする。

★自分たちもちつきあがったもちを丸め、食べたり持ち帰ったりする。もちの感触を味わい、伝統行事にふれる機会がもてるようにする。

えほん よんで!

★幼児たちの口によれやすい所に興味もてるように絵本をそろえておき、要求があったときは読み聞かせたり、一緒に絵を見たりして楽しむ。

★言葉のくり返しがおもしろいもの、単純なくり返しのある絵本を読んでやり、物語やお話の楽しさを感じさせて視しめがもてるようにする。

せんせい!せんせい!

★体験したこと想像したことなどを、自分なりの言葉で話すようになるので、充分に話すとともに興味をもって保育者や友達の話を聞けるようにする。

おに、こわいよお~

★まめまきや節分の本を見たり、話したりしながら、どんな鬼のお面にしたいか、イメージがふくらむようにする。

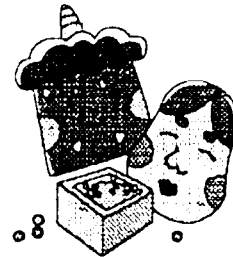
折り紙で「ます」を折ることが難しいときは、保育者が、一緒に折ったり、作ったりする。

★鬼を怖がる幼児は、福の神のお面などに替えてもよい。

★鬼遊びなど存分に体を動かせる遊びを考える。

★ルールがあることを知らせ、追いかける人と追いかられる人(鬼と逃げる人)という、単純なルールのものから追いかけるこの楽しさを伝えていくようにする。

年長児の遊びの中に一緒に入れてもらい、ルールを教えてもらったりしているうちに、気づいていけるようにする。また、ちょっとしたルールのある鬼ごっこ(水鬼、手つなぎ鬼 など)にも慣れさせていく。



生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映写	行 事
<p>お正月遊びについての安全を守る。</p> <p>★安全な遊び方を知る。(室内・戸外)</p> <p>★遊んだものは元の場所へ戻す。</p> <p>基本的な生活習慣の見直し</p> <p>★園生活の仕方を再確認する。</p> <p>★幼稚園のきまりを再確認する。</p>	<p>★三学期スタートにあたって成長を共に喜び合い、剛生活や遊びへの取り組みについて知ってもらい、子ども達がよりよい活動ができるように保護者にも協力してもらおうようにする。</p>	<p>絵 本 *かさじぞう *鬼ムーチー  *かにむかし *沖繩の貨幣  紙芝居 *かまくらのお正月 など</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>*たこのうた *いー正月やー  *あぶくたつた *ことしのぼたん  *もちつき *ムーチーのうた など</p>	<p>*三学期始業式</p> <p>*身体測定</p> <p>*修了記念写真撮影</p> <p>*もちつき または ムーチーづくり</p> <p>*園外保育</p> <p>*誕生会</p>

2月の指導計画（3歳児）

幼児の姿	ねらい	内容
<p>☆遊びによって流動的ではあるが、学級の中でいくつか仲良しグループが見られるようになり、関わりを楽しむ姿が見られる。</p> <p>☆製作では、描いたり作ったりすることに興味をもち、思いのままに好きな絵を何枚も描いて満足したり、身近にある紙や空き箱などの材料を使ってそのもの見立てから「～をつくろう」と、切ったり、貼り付けたりして、自分なりにイメージするものを作ろうとする姿が見られるようになってくる。</p> <p>☆手先もちよっとずつ器用になり、折り紙など角を合わせようとするなどして、でき具合を意識して作ろうとする姿が見られる。又、うまくいかない場合は自分で何度もやり直してみたり、まだうまくできない場合は保育者に頼ってくる。</p> <p>☆日差しの心地よさ、草木の芽吹きなどを感じ、遠んで戸外で遊ぶようになる。</p>	<p>◎気の合った友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>◎興味のあることに存分に取り組み、満足感を味わう。</p> <p>◎身近な材料や用具を使って、自分なりのイメージをもって、描いたり、作ったりすることに興味をもつ。</p> <p>◎花壇や草木などの身近な自然に触れ、香の訪れを知る。</p>	<p>◎それぞれのお互いに思いや考えを出し合いながら、気の合う友達と関わって楽しく遊ぶ。</p> <p>◎描いたり作ったりする中で、いろいろな身近な素材に親しみ遊ぶ。</p> <p>◎身近な材料や用具を使って自分のイメージを思いのままに試したり、工夫したりして表現することを楽しむ。</p> <p>◎戸外に出て遊び、暖かい日差しの中、草木の芽吹きなどに気づき、もつづく香がくることを感じる。</p>

環境構成 援助 配慮

また つくってみよう！

★新聞紙・広告紙を丸めて剣にしたり、背中に付けてマントにしたりして遊んでいる年中・年長児の様子を見て、自分たちも同じようにしたがる。

★剣やそのほか遊びの材料となる空き容器・新聞、広告紙などを廃品を充分に用意しておく。戸外へ出でのびのびと遊びのイメージを広げていく。

★幼児たちのイメージを大切に、イメージしたものがすぐ表現できるよう、用具や材料、素材を十分に準備しておく。幼児たちの要求に応じて、一緒に作ったり楽しんだりする。

★新聞紙の剣など、一人で作ることができる幼児が多くなるので、友達同士で教え合える場にもしていく。

★道具や玩具に興味を示し、友達とふれあいながら好きな遊びをするようになる。自分で遊びを選び楽しんで遊ぶ態度を育て、遊びの場や内容を広げさせたい。

★牛乳パック、プリンカップ、乳酸飲料の容器、トレーなどを十分に準備しておく。そして使いたいときにすぐ使えるようにしておく。また、家庭に呼びかけ、持ってきてもらうと集まりやすい。

★子ども達が、自分達で楽しく遊んでいるときは、あまり口出しせず見守るようにする



ぽかぽかしてきたわ

★寒くても平気で元気に戸外で遊ぶ幼児と、保育者の誘いがなく戸外に出ていけない幼児との差が大きいので、天気の良い日は寒さに負けず十分に体を動かして遊べるようにする。

★保育者自身が、木枯らし・桜の開花などの自然の現象や変化に敏感に感じ目を向けていくようにする。

★季節の変化に気づくようにいかけ、日差しの心地よさや草木の芽吹きに気づかせていくようにする。



おひなさまだよ！

★ひなまつりがあることを知らせ、桃の節句をお祝いする気持ちをもたせるようにする。

★幼児達の目にあれやすい所に、用具・材料を準備しておく。

★製作コーナーをつくっておく。

★のり、はさみの使い方が十分な幼児には手をかして、使い方を伝えていくようにする。

★その幼児なりの発想を大切に認めていき、意欲的に取り組めるようにする。



生活習慣

かせやインフルエンザが流行する時期を知らせる。  
 ＊手洗い・うがいの習慣を身に付ける  
 ＊好きな遊びをしている時の安全な避難の仕方を知る。  
 ＊火事や地震の怖さを知る。  
 ＊避難訓練の約束を守る。

家庭との連携

＊風邪やインフルエンザについて園での流行の状況を知らせ、幼児の体調についてお互いに連絡しあう。伝染病などにかかった場合の欠席について確認のため知らせる。

絵本・紙芝居・映写

絵 本＊ももたろう ＊こぶじさま  
 ＊いっすんぼうし ＊ちびっこひびおに  
 紙芝居＊まめっこ太郎 など

歌・リズム・体操

＊豆まき ＊ごんべえさんのおかちゃん  
 ＊おにのパンツ ＊げんこつやまのたぬきさん  
 ＊コンコンクシヤンのうた ＊でーじぬくんかん

行事

＊小学校学芸会リハーサル見学  
 ＊節分  
 ＊避難訓練（予告なし）  
 ＊カレーパーティー  
 ＊新入園児一日体験入園  
 ＊親子アルバム作り  
 ＊園外保育  
 ＊誕生会

3月の指導計画(3歳児)

幼児の姿	おらい	内容
<p>☆生活のいろいろな場で3歳児なりの自信が感じられるようになり、少し難しいことにも挑戦してみたり、いろいろなことを運んで友達に教えてあげようとする姿が見られる。自分たちよりも年下の新入園児が来ることを知ると、その自覚がいつそう強まる。</p> <p>☆毎日のおたより紙のシール貼りなどで、年少組での生活が残り少なくなっていくことを感じたり、年中組になることに期待したり、年長児へのプレゼントやお別れパーティーなどを通して、年長児がいなくなる淋しさを感ずるなど、進級への期待と戸惑いを感じながら生活する姿が見られる。</p> <p>☆自分のしたいことが存分にできる喜びを味わったり、今までできなかったことができるようになったことが自信となってくる。いろいろなことに積極的に取り組むようになると共に、それを保育者に認めてもらいたいという気持ちが強くなる。自分が作ったものを身につけ見せに来たり、プジョーに乗って保育者を呼ぶなど、自分の存在を知らせてがる姿がよく見られる。</p>	<p>◎大きくなったことを喜び、年中組になることを自覚し、進級に期待をもって生活する。</p> <p>◎年長児が卒業していくことを知り、祝う気持ちや感謝の気持ちをもつ。</p> <p>◎様々な生活に必要な活動を自分なりに、喜んで取り組む。</p>	<p>◎新入園児が来ることを知り、3歳児なりに年中組になる自信や自覚を感じ、教えてもらったり、教えてあげたり、また、手伝ってもらったり、手伝ってあげたりすることに喜びを感じる。</p> <p>◎年長児へのプレゼントやお別れパーティーなどを通して、年長児が終了(卒業)していくことを知り、お祝いをしたり、感謝の気持ちをあらわす。</p> <p>◎毎日のおたより紙のシール貼りなどで、1年間のしめくくりの時期であることを知り、片付けや整理をしようとする。</p>

環境構成 ・ 援助 ・ 配慮

おおきくなったよ!

★年少組のときの記念になるよう足型をとって残し、自分が大きくなったら何になりたいか好きな食べ物は何かなども一緒に書き添えておく。

★1年間で大きくなったことを喜び、年中組(お兄さん・お姉さんの組)になることへの自覚がもてるようにする。



★仲のよい友達と遊んだり、友達や保育者の手伝いをしたがりして、大きくなったという感覚を持ちはじめている。これを進級の期待へとつなげる。

★様々な生活に必要な活動を自分なりに取り組み、自分でできることは進めようとする。こうしたことを通して、自分の力で行動する充実感を味わわせる。



おにいさん おねえさん どこに行くの?

★お遊戯室に集まり、舞台の上では自分たちの得意なこと(手遊び、歌、ダンス)をしたり、また、中央では、年長児と一緒にフォークダンスをしたりして楽しむようにする。

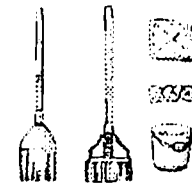
★仲よしのお兄さん、お姉さんと一緒にすわり、楽しく会食できるようにする。

★もうすぐ終了(卒業)していく年長組へのプレゼントをしたい幼児には、イメージが実現できるように手助けしていく。

★簡単な形を描く・切る、また歌う・曲に合わせて動くなど、様々な活動を楽しむようになる。その子なりの表現を認めながら、表現の楽しさを味わわせていく。

きれいになったね!

★自分たちの保育室だけでなく、みんなが使う部屋も片づけなければならないことを伝え、年中・年長児の手伝いができるようにする。



生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映画	行事
<p>遠足(園外)での約束を守る。</p> <p>*集団のきまりを守る。</p> <p>*安全のきまりを守る。</p> <p>連絡することについての心構えをする。</p> <p>*園生活の仕方を再確認する。</p> <p>*幼稚園のきまりを再確認する。</p>	<p>*PTA親子清掃について、幼児の生活する姿を通して、教育のわらいや内容の理解や園の環境作りに協力を求める。</p> <p>*進級するにあたって、一年を振り返って、子どもの成長をともに喜び合う。また、進級に向けて、悩みなどがあれば話し合い、進級への期待を共有してもらう。</p>	<p>絵本 *はらへこあおむし *キャベツくん *わたしのワンピース</p> <p>紙芝居 *みんなで作ったおひなさま など</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>*うれしいひなまつり *思い出のアルバム *卒業(終了)の歌 *いっくらこつちく など</p>	<p>*ひなまつり *お別れ遠足 *お別れパーティー *PTA親子清掃 *園生会 *終了式 *卒業式リハーサル *卒業式</p>

4月の指導計画（4歳児）

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容	
<p>○進級した喜びが大きくはりきっていたり、新しい担任、教室など環境の変化に戸惑ったり、不安になったりする幼児もいる。</p> <p>○期待いっぱいに登園する子、不安そうな子など様々である。入園の緊張感から保護者から離れにくかったり、泣いていたり、遊んでいる様子をじっと見ていたりする子もいる。親しみのある遊具で遊びだし、徐々に安定するなどそれぞれのペースで生活が始まっている。</p> <p>○年少の頃から仲のよかった友達を誘って遊ぶようすが見られる。</p>	<p>○園生活に慣れ、安定して遊ぶ。</p> <p>○教師や友達とふれあい、親しみをもつ。</p> <p>○幼稚園での生活の仕方を知り、わかるようになる。</p>	<p>○喜んで登園する。</p> <p>○保育者や友達とふれあい、安心感をもつ。</p> <p>○幼稚園での生活のリズムや生活の仕方を知り、慣れるようにする。</p> <p>○所持品の始末の仕方を知り、わかるようになる。</p> <p>○手の洗い方やトイレの使い方がわかる。</p> <p>○園庭や教室の遊具、玩具、場所の使い方を知り遊ぶ。</p> <p>○自分の好きな遊びを楽しむ。</p> <p>○草花で遊んだり、小動物にふれたりして親しみをもつ。</p> <p>○絵本や紙芝居を見たり、歌を歌ったりする。</p>	
★ 環 境 構 成 ・ ☆ 援 助 ・ 配 理			
<p><b>かばんはどこにおくの？</b></p> <p>★新しい環境の中で、戸惑うことなく、園生活が始められるよう親しみやすい環境を構成する。</p> <p>★ロッカーや靴箱などにネームやシールを貼ったり、出席ノートなどを提出する入れ物は、わかりやすいように表示をして用意する。</p> <p>★一人一人に笑顔で挨拶をして、温かく迎え入れ、安心感をもてるようにする。</p> <p>★不安そうな子どもや泣いている子どもに、声をかけたり、一緒に遊んだりしてスキンシップを多くもち、保育者に親しみを感じることができるようになる。</p> <p>★身の回りの始末、手洗いの仕方、トイレの使い方など一人一人に会わせていっしょに教え、繰り返し知らせていく。</p> <p>★入園当初は家庭で経験している遊びや一人遊びを呼びかけ、親しみのある遊具、落ちついて遊べるような場、家庭的な雰囲気のある部屋を作る。</p> <p>ブロック、パズル、折り紙、チラシなどを準備する。</p> <p>ままごと、絵を描く、絵本を見るコーナーを作る。</p>  <p><b>ブランコにのりたいな</b></p> <p>★園庭や固定遊具周辺に、危険なものがないかどうか安全点検をする。</p> <p>★固定遊具の安全な使い方やきまり、順番などを遊びながら具体的に知らせる。</p> <p>★親しみやすい遊具で保育者も一緒に遊びながら、子ども達の不安な気持ちを取り除いていくようにする。</p> <p>★園めぐりをして、園舎内外の様子を知らせ、幼稚園に親しみをもてるようにする。</p> <p>★登園したら、門の外側には一人では行かないよう知らせる。</p>	<p><b>うさぎさん、かわいい。      ピンクの花きれいな</b></p> <p>★花壇に花が咲いていたり、摘んで遊べる草花が園庭にあたりするなど環境を整え、花を見たり、花摘みをして遊べるようにする。</p> <p>★飼育小動物を育て、小動物を見たり、餌をあげたりできるようにする。</p> <p>★飼育者が小動物にやさしくかかわり、世話をする様子を見せたり、子ども達が小動物に接したときの気持ちを受け止めていくようにする。</p> <p>★年長児が世話をしているようすを見せながら、親しみをもてるようにする。</p> <p>★小動物と遊んだ後は、手を洗うよう知らせる。</p>   <p><b>せんせい、えほんよんで</b></p> <p>★保育者や友達、みんなと一緒にいると楽しいなど感じられるよう、温かい雰囲気をつくり、園生活に期待がもてるようにする。</p> <p>★学級の友達と絵本や紙芝居を見たり、歌を歌ったり、手遊びをしたりして親しみをもてるようにする。</p>  <p>★絵本を見たり、交通安全指導を受け、交通の決まりを知り、守れるようにしていく。</p> <p>★登降園の際は保護者に協力してもらい、交通安全に留意する。</p>		
生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映画	行事
<p>★所持品の始末の仕方を知る。</p> <p>★手洗いの仕方やその意味を知る。</p> <p>★トイレの使い方を知る。</p> <p>スリッパに履き替える。</p> <p>トイレトペーパーの使い方がわかる。</p> <p>使用後は流す。      手を洗う。</p> <p>★あいさつをする。</p> <p>★帽子をかぶって外へ出ることを知る。</p>	<p>★園慣れやクラス慣れなどを通して園や学級の様子を伝え、保護者と共通理解を深め、信頼関係を築いていく。</p> <p>★保護者に安心感をもってもらえるように、降園時にその日の様子を知らせ、気軽に話せる雰囲気を作り出していく。</p> <p>★家庭訪問では、入園前の子どものようすを聞き取り、一人一人の育ってきた過程や保護者の願いなどを理解していくようにつとめる。</p>	<p>★ノントンおらんこのせて      ＊ぐりとぐら</p> <p>★ねずみくん・ねずみくん</p> <p>★パンダちゃん交通安全（16ミリ映画）</p> <hr/> <p style="text-align: center;">歌・リズム・体操</p> <p>★チューリップ      ＊むすんでひらいて</p> <p>★先生とお友達      ＊エイトマンゴーゴー</p> <p>★かごめかごめ      ＊あぶくたつた</p>	<p>★保護者会</p> <p>★1学期始業式</p> <p>★入園式</p> <p>★身体測定</p> <p>★交通安全指導</p> <p>★家庭訪問</p> <p>★4月生まれの誕生会</p>

5月の指導計画(4歳児)

幼 児 の 姿	お ら い	内 容
<p>○ほとんどの子どもが喜んで登園し、自分の興味のある遊びを見つけて遊ぶようになってくる。中には保護者の手から、ようやく離れて徘徊したり、保育者のそばにいるつもりで、友達ができ始めるようになると、不安がやわらぎ、遊びを楽しむようすが見られる。</p> <p>○進級児と新入園児がしたいにうち分け合い、名前を見えるなど親しみをもち、一緒に遊ぶ姿が見られる。</p>	<p>○保育者や友達とかわりながら好きな遊びを楽しむ。</p> <p>○いろいろな遊びに興味をもち、やってみようとする。</p> <p>○園生活に必要なまきまりを知り、身につけていくようにする。</p>	<p>○喜んで登園し、自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ。</p> <p>○保育者や友達と触れ合って遊ぶ。</p> <p>○砂、土、粘土などに触れて遊び感覚を味わう。</p> <p>○身近な自然に親しんで遊ぶ。</p> <p>○固定遊具や用具で遊びながら安全な使い方を学ぶ。</p> <p>○自分でできることは自分でできるようにする。</p> <p>所持品の始末、弁当の準備や片づけ</p>

★ 環 境 構 成 ☆ 援 助 ・ 配 慮



きょうも ブロックであそぼう!

★自分のやりたい遊びができるような場所や遊具、用具、材料などを豊富に用意して、満足感を味わえるような時間を確保する。(ブロック、ままごと、色紙、画用紙、新聞紙、ちう紙、絵本)

★遊び出せずにいる子には、生活の様子を見ながら何に興味を持っているかを確かめ、信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする。

★ほかの子も遊んで作った物を見て(例えば、ちう紙で作った剣など)、自分も同じものを作りたいと取り組んでいる子の気持ちを受け止め、保育者はできないところを手伝ってあげるようにする。

大きな山を作ろう

★砂場道具(スコップ、バケツ、型抜き、シャベル、じょうろなど)を、十分に用意しておき、取り出しやすいように分類、表示しておく。

★初めて使う遊具や用具の使い方は、遊びの中でいねいに知らせていく。

★保育者と子ども、子ども同士のコミュニケーションの場になるようにする。

★年長児が遊んでいるようすを見みながら、遊ぶ楽しさを知らせ、保育者が仲立ちらになって一緒に遊ばせてもらうようにする。

★はだしになっていいことを知らせ、そりの始末ができるように促していく。

お弁当の時間、まだかな?

★楽しい雰囲気と弁当を食べることができるように工夫する。

★食べ終わったら、こぼしたものがなくどうか確かめ、片づけられるように促していく。

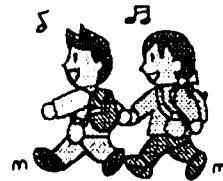
★苦手な野菜が入っている、頑張って少しずつ食べるよう声かけをしながら、認めていく。

テントウムシ、見つけたよ

★幼虫やテントウムシなどを見つけて遊ぶことが多くなってくるので、虫かごや観察ケースを用意しておく。

★見つけた虫を調べられるように図鑑を、子どものよく見えるところに用意しておく。

★虫捕りや草花摘みを楽しんでいる子ども達と感動や喜びをともにする。



わーい、わーい、えんそくだ!

★音の満足では、身近な自然にふれ、公園を散策したりして心地よさを感じられるようにする。

★近隣の公園に徒歩で行くので、交通のまきまりを守って、保育者や友達と一緒に行動がとれるようにする。

★初めての園外保育なので、一人一人の健康状態を把握する。

おかあさん、さつとびっくりするよ

★作ったり、描いたりすることを好む子がいるので、場作りをして取り組めるようにする。

★のり、はさみ、クレヨンなどの使い方は、全体で、あるいは個々に指導することもあるが、ていねいに一人一人の様子に合わせて知らせるようにする。

★こいのぼりを作ったり、母の日のプレゼント作りにしても、子どものイメージや考えを大切にしながら積極的に取り組めるようにする。

★母の日について話し合い、感謝の気持ちをもって作ることができるようにする。



生 活 習 慣	家 庭 と の 連 携	絵 本 ・ 紙 芝 居 ・ 映 写	行 事
<p>○所持品の始末ができる。</p> <p>○出席ノートに押印、シールをする箇所がわかる。</p> <p>○トイレの使い方がわかる。</p> <p>○手の洗い方、手洗い場の使い方がわかる。</p> <p>○弁当会の準備や片づけの仕方を知る。</p> <p>○食後の歯磨きの仕方を知り、できるようにする。</p> <p>○食後は休息をとる。</p> <p>○足洗い場の使い方がわかる。</p>	<p>○弁当会が始まるので準備するもの、量減減、偏食、安全面について、保護者に協力してもらう。</p> <p>○自分の持ち物には名前や日印を付けてもらい、自分のものがわかるようにしてもらい、自分でできることはできるだけ自分でする機会を作ってもらいようにする。</p>	<p>*はらべこおむし *そらいろのたね</p> <p>*くりとぐらのえんそく *せんたくかあちゃん</p> <p>*おきなわのしせんこども</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>*こいのぼり *おかあさん</p> <p>*おべんとうのうた *ことりのうた</p> <p>*らんくわーんとうふんまあさん</p>	<p>*弁当会開始</p> <p>*春の遠足</p> <p>*内科・歯科検診</p> <p>*保育参観日</p> <p>*貧血検査</p> <p>*5月生まれの誕生会</p> <p>*映写会</p> <p>*絵本貸し出し開始</p>

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<p>○友達の上で遊ぶに興味を持ち、同じ場で遊んだり、関心のある友達を追いかけたりする。また、気の合う友達を見つけて一緒に遊ぶことを楽しむようになる。</p> <p>○自分の気持ちを出して遊ぶようになるが、自分の思いだけで動き、トラブルが起こることもある。</p> <p>○水、砂、土に触れて泥んこになって遊んだり、砂場でままごと遊びをしている。年長児が虫取りや幼虫探しをするのを見ながら真似て遊ぶようになる。</p> <p>○友達の話や保育者の手伝いは進んでするが、自分の身の回りの始末がおろそかになったりする。</p>	<p>○友達とふれあって遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○身近な小動物や草花に親しみをもち、かかわって遊ぶ。</p> <p>○園生活で必要なことを自分でしようとする。</p>	<p>○保育者や友達といっしょに好きな遊びを楽しむ。</p> <p>○水遊びに必要な身支度や挨拶の仕方を知る。</p> <p>○プールでの遊び方を知り、慣れる。</p> <p>○身近な動物に興味をもち、かかわって遊ぶ。</p> <p>○自分の気持ちを言葉や態度で表す。</p> <p>○遊びに必要な言葉を知り、使う。</p> <p>○好きな曲に合わせて歌ったり踊ったりする。</p>

★ 環 境 構 成 ・ ☆ 援 助 ・ 配 慮

一緒にトンネル作ろうよ

★水や砂、土で遊んだり、ままごと遊びなどに取り組めるよう、取り出しや片づけがしやすいように、かごに表示をしたりして工夫する。

★子どもの発想を受け止めたり、一緒に遊んだりする中で、材料や用具の使い方を知らせていく。

★友達とのトラブルでは、それぞれの気持ちを十分に受け止めて、相手の気持ちを代弁したり、お互いの気持ちを知らせたりしていく。

★友達と遊ぶ中で、順番や交替をして使う物があることを知らせたり、「かして」「いれて」など、友達とかわかるときに必要な言葉や知らせながら、適切な援助をする。

水遊びはおもしろいね

★水遊びは一人ひとりに応じて親しませるようにする。水に抵抗のある子には、遊びながら徐々に水に慣れるように促していく。

★水着の着替えなど新しく経験する生活習慣には、やりやすい方法を知らせながら身につけようとしていく。

★プール遊びは初めての子もいるので、プールでの遊び方やきまりを具体的に知らせたり、確認したりしながら、守っていくことができるようにする。

作ってみようかな、できるかな

★父の日のプレゼント作りでは興味がおそられるような材料や素材を準備し、楽しく取り組めるようにする。

★製作活動にも興味をもち友達と同じ物を作ったり、それを遊びに使ったりするようになるので、取り出ししたり、使ったりできるようにしておく。

★一人でできない子には、保育者が一緒に作ったり、上手な子に手伝ってもらったりするようにしながら、同じ物が作りたいという思いが溢れるようにしていく。

この虫 なあに？

★子どもたちと一緒に園庭にいる虫やカタツムリ、オタマジャクシ、カエルなどを見つけ、手で触ったり、観察ケースに入れて観察したりして、興味を持たせるようにする。

★ザリガニ、鶴などを見たり、触れたりする機会が多くもてるようにする。

★小動物を大切にすることは、保育者の世話の仕方や、声のかけ方が影響するところが多いので、生き物であることをそのつど話しながら、遊び方や世話の仕方を気づかせていく。

★虫かご、観察ケース、飼育など、取り出しやすいように用意する。

★虫をさわって遊んだ後は手をきれいに洗うように促す。



ゴ-ヤ-のあかちやんができていますよ

★栽培物の水やりをしながら、成長の変化に気づき、発見に共感し、期待を持って世話ができるようにする。

★年長児が草花でままごとに使ったり、色水で遊んでいるのを見て、真似て遊んでいるようすを探え、他の子どもたちにも気づかせながら、遊べるように援助していく。

★色水遊びに必要な材料や用具（ビニール袋、ペットボトル、テーブルなど）を用意しておく。

このダンス、おもしろいね

★子どもたちの好きな曲や聴かせたい曲を選んで演じ、子どもたちと一緒に歌ったり踊ったりして、表現する楽しさを味わうようにする。

★友達と一緒に走ったり、集団遊びやじゃんけん遊びしたりするなど、体を動かす心地よさを味わえるようにする。



生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映画	行事
<p>★衣服の着脱ができる。</p> <p>★汚れた手足をきれいに洗う。</p> <p>★歯磨きをする習慣を身につける。</p> <p>★梅雨時の過ごし方を知る。</p> <p>★火災時の安全な避難の仕方を知る。</p> <p>・火事の怖さを知る。</p> <p>・避難訓練の約束を守る。</p>	<p>★水遊びが盛んになるので着替えのできる服、汚れても気にならない服を準備してもらおう。</p> <p>★歯磨きをする習慣を身につけられるよう歯磨きカードを作成し、協力してもらおう。</p> <p>★親子運動会への案内をして、親子で触れ合い、楽しく過ごせる機会をつくる。</p>	<p>★おたまじやくしの101ちゃん</p> <p>★むしばさんがやってきた</p> <p>★おりょうりとうさん</p> <p>★はくはガジュマル</p> <p>★かたつむりのツムツム</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>★とけいのうた</p> <p>★かえるのうた</p> <p>★動物体操1・2・3</p> <p>★はをみがきましよう</p> <p>★かたつむり</p> <p>★あーみーまーよ</p>	<p>★梅の誕生週間</p> <p>★親子運動会</p> <p>★6月生まれの誕生会</p> <p>★園外保育</p> <p>★避難訓練</p> <p>★プール遊び開始</p>

7月の指導計画（4歳児）

幼 児 の 姿	わ ら い	内 容
<p>○水遊びが活発になり、喜んで取り組んでいる、ぬれるのを嫌がってすぐ着替えていた子も、徐々に興味をもってかかかわるようになる。</p> <p>○保育者に少し手助けをしてもらったり、着替えのやり方を教えてもらったりして、時間はかかるが自分でやるうとする子が増えている。</p> <p>○進んで自分の好きな遊びに取り組み友達とかかわってあそぶ子と、まだ保育者に依存的な子がいる。</p> <p>○小動物や草花に親しみ、大切に育てたり、色水を作ったりして興味をもって遊んでいる。</p>	<p>○いろいろな水遊びに親しみ、存分に楽しむ。</p> <p>○友達や保育者とふれあって、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○生活や遊びに必要な身の回りのことを自分でする。</p>	<p>○いろいろな水遊びを通して水に慣れる。</p> <p>○保育者や友達と一緒にプール遊びに喜んで参加する。</p> <p>○水、砂、泥、土などの感触を味わい、楽しく遊ぶ。</p> <p>○いろいろな草花を使って、色水遊びを楽しむ。</p> <p>○自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ。</p> <p>○夏の野菜や草花に興味を持つ。</p> <p>○身の回りの始末を自分でする。</p>

★ 環 境 構 成

☆ 援 助 ・ 配 慮

プールに入ったら気持ちいいね

★日当たりのよい場、木陰など、おのおのの場所をいかして、思いっきり遊べる場と、ゆったりと落ちついて遊べる場を作り、それぞれの遊びが十分に楽しめるようにする。

☆保育者もプールと一緒に入り、水遊びの心地よさを子ども達と共感したり、遊びの中で、発見したり、気づいたりしたことに共感する。

☆プール遊びが毎日続く、子ども達も疲れやすくなるので、体調や天候に合わせて、休をとったり、早めに切り上げたりして無理のないようにする。

☆一人ひとりの水への抵抗感を配慮しながら、みんなと一緒に楽しめるように工夫する。

★遊びに必要な材料（ペットボトル、ビニール袋、じょうご、いろいろなストローなど）を準備して、やりたい遊びが取り組めるようにする。

☆草花からきれいな色水ができることを気づかせ、アサガオ、モスローゼなどしぼんだ花を使って面白いことを気づかせる。

☆ジャンポン玉遊びが経験できるように、テーブルを出したり、ときには保育者が仲介役になり、年長児とかかわって遊べるようにする。

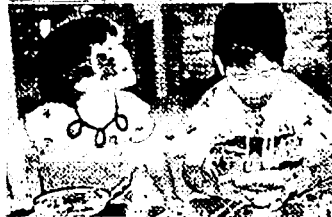


せみをつつけた！

★セミや蝶々捕りが満足して取り組めるように、虫捕り網や虫かご、観察ケースなどを用意しておく。

★気づいたことや不思議に思ったことを、図鑑や本で調べられるように用意しておく。

☆夢中になって捕まえるが、その後の世話はおろそかになりがちになる。一緒に飼育方法を調べたり、虫のことをよく知っている友達に聞いたりしながら、世話ができるようにする。



お好み焼きの中に、ピーマンとゴーヤーがはいっているよ

★栽培園や花壇の環境を整え、興味関心もてるようにする。

☆子ども達と一緒に世話をしながら植物の生長や変化に興味をもたせ、花が咲いたときや実がなったとき、収穫して食べたときの喜びや感動を共に味わうようにする。

（ピーマン、ナス、ニガウリ、オクラ、トマトなど）

☆収穫した野菜をサラダや天ぷら、お好み焼きなど調理して、少しずつ苦手な野菜が食べられるように励まし、頑張っている姿を受け止めていく。

ぼくがつくったの、すごい

★身近にある材料（空き箱、牛乳パック、トレー、ペットボトル）を豊富に準備しておき、船やロボットなど、作りたいものが製作できるようにする。できないところは友達と教えあったり、保育者が手助けをするようにする。

☆七夕の世話を保育者や友達と一緒に作ったり教えてもらうなど、製作の喜びが味わえるようにする。

☆のりやハサミの使うようすを見ながら、個々に応じた手助けをしていき、使った後の片づけはできるところから、自分達でできるように促していく。



☆保育者と一緒に自分の持ち物や使った道具を整理したり、保育室の掃除をしたりして、夏休みがくることを知らせていく。

☆1学期の生活を振り返り、個々に成長したことを知らせ、喜びがもてるようにする。

生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映写	行 事
<p>★戸外では帽子をかぶって遊ぶ。</p> <p>★遊んだ後の片づけをする。</p> <p>★汗をかいたらハンカチでふく。</p> <p>★休息をとる。</p> <p>★水遊びのときは忘れ物をしない。</p> <p>★衣服の着脱、始末をする。</p>	<p>★プール遊びに伴う健康チェックをしてもらい、プールカードや着替えなど忘れないよう協力してもらう。</p> <p>★1学期中の子どもたちの成長を伝えたり、夏休み中の家庭での過ごし方について話し合う機会をもつ。</p>	<p>★どろんこハリー                      *ゴーヤー</p> <p>★スイミー                               *すいかのたね</p> <p>★動物村の消防士                      *おじいさんとサバニ</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>★プールの歌                           *たなばたさま</p> <p>★せみのうた                           *ジャンポン玉夏休み</p> <p>★あめふしていち</p>	<p>★七夕</p> <p>★7月生まれの誕生会</p> <p>★園外保育</p> <p>★映写会</p> <p>★個人面談</p> <p>★1学期学級懇談会</p> <p>★1学期終業式</p>



9月の指導計画（4歳児）

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<p>○長い夏休みを終え、不安そうにしている子もいるが、ほとんどの子が友達と一緒に遊べることを喜んでいる。</p> <p>○休み前に興味をもっていた砂や水遊び、虫捕り、色水遊び、ままごと、プール遊びなどに取り組み遊んでいる。</p>	<p>○気のある友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○保育者や友達と、十分に体を動かして遊ぶ。</p> <p>○生活のリズムやきまりを自分から守ろうとする。</p>	<p>○1学期の遊びや夏休み中の体験を取り入れた遊びを楽しむ。</p> <p>○園生活のリズムを取り戻して安定して遊ぶ。</p> <p>○同じ遊びや仕事をすることで、友達のかかわりをもつ。</p> <p>○戸外で体を動かすことに興味もち、遊んだ後は汗を拭いたり、衣服を着替えたりする。</p> <p>○お年寄りとふれあい、親しみの気持ちを持つ。</p> <p>○身近な自然にふれて遊ぶ。</p> <p>○好きな曲をかけて、身体表現を楽しむ。</p>

★ 環 境 構 成

☆長い夏休みを終え、久しぶりの園生活を喜んでいると、不安そうにしている子がいるので、一人ひとりのペースを考慮して、園生活のリズムが取り戻せるようにする。  
 ☆園内外の整備や、遊具や用具の点検を十分にしておき、安全に遊べるようにしておく。

顔つけができるようになったよ

☆1学期に経験した遊びを再現して遊ぶようすが見られるので、子ども達がやりたい遊びを十分に楽しむように、遊具や用具は取り出しやすいところに整理しておく。  
 （プール遊び、色水遊び、シャボン玉遊び、どろんこ遊び、虫捕りなど）  
 ☆一人ひとりの夏休みの成長（顔つけ、水にもぐるなど）について、できるようにしたところを認め、自信をもたせていくようにする。  
 ☆モスローゼ、マツパポタン、トレニアなど、しばんだ花を染めて色水を作り、ままごとやジュース屋さんに発展していけるようにする。  
 ☆夏休みに体験した遊びが再現できるように（おぼけやしきごっこ、魚つりごっこなど）材料を豊富に用意しておく。  
 ☆ごっこ遊びができるよう保育者も手伝ったり、年長児の影響を受けることが多いので、一緒に年長児の教室へ出かけていき、年長児の様子を見せたり、年長児と同じ場所で作ったりするようにする。

☆バッタ、コオロギの動く様子を見たり、虫の飼いや種類にも興味もてるよう図鑑を渡したり、友達同士で調べたりできるようにする。  
 ☆ヒマワリ、アサガオ、オクラなどの種とりをして、種の形や色のおもしろさなどに気づかせる。  
 ☆子ども達の発見や感じたことを尊重し、自然物に親しんでいく気持ちを育てていく。



おじいちゃん、水でつぼう作りたいな

☆地域のお年寄りや子ども達の祖父母を招待し、ふれあう場作りを工夫する。  
 ☆祖父母とのふれあいを通して、思いやりや感謝の気持ちのめばえを培うようにする。  
 ☆祖父母へのプレゼント作りができるよう、声をかけたり、一緒に手伝ってあげるようにする。  
 ☆好きなときに作ったり描いたりできるように、取り出しやすい位置に教材を用意する。壁に絵やマークをつけて子ども達にも整理しやすいようにする。  
 ☆作ったり、描いたりした作品を展示できるような場を設定する。



エイサーを踊ろう

☆体を動かして遊ぶコーナーを作り、友達と一緒に遊べるようにする。（かけっこ、竹馬、フラフラ、リズムダンス、エイサーなど）  
 ☆一人ひとりの取り組みを認め、励ましながら自信につなげるようにする。  
 ☆保育者自身が積極的に体を動かし、遊ぶことの楽しさや運動する心地よさを味わえるようにする。  
 ☆夏休みに体験したエイサーの曲を流したり、子どもたちのよく知っている曲や好きな曲を準備し、自分たちでラジカセを操作できるようにしておく。  
 ☆子ども自身の動きを大切にしながら、保育者も一緒に表現し、音楽に合わせて表現する楽しさを味わわせるようにする。  
 ☆年長児の取り組みを見て、年長児に対するあこがれの気持ちを大切に、「あんなふうになりたいな」という気持ちを意欲につなげていくよう援助する。



生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映写	行事
<p>*園生活のリズムを取り戻す。</p> <p>*遊んだ後の片づけをする。</p> <p>*身の回りの始末の仕方の再確認をする。</p> <p>*地震の時の安全な避難の仕方を知る。                      ・地震のこわさを知る。                      ・避難訓練の約束を守る。</p> <p>*園庭の清掃をする。</p>	<p>*敬老の日の集いの招待状を出して、参加を呼びかける。</p> <p>*地域の行事や催し物に参加して、地域の文化にふれる機会をもつ。</p> <p>*家庭周辺の親子清掃の協力を呼びかける。</p>	<p>*14ひきのおつきみ</p> <p>*パパ、お月さまとって</p> <p>*かえるのつなひき</p> <p>*よもぎだんご</p> <p>*おぼけのパーバババ</p> <p>*エイサー</p>	<p>*2学期始業式</p> <p>*身体測定</p> <p>*8月生まれの誕生会</p> <p>*9月生まれの誕生会</p> <p>*十五夜（だんご作り）</p> <p>*おじいさん、おばあさんと遊ぼう会</p> <p>*映写会</p> <p>*親子清掃</p> <p>*避難訓練（地震）</p>
		<p>歌・リズム・体操</p> <p>*とんぼのめがね</p> <p>*キャンプだ、ホイ</p> <p>*ちんねくじゅうしい</p> <p>*おじいさんのおとし</p> <p>*じんじん</p>	

10月の指導計画(4歳児)

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<p>○気の合う友達同士につながりが深くなり、自分の思いや考えを友達に伝え、わかってもらうことがうれしくて、会話が活発になってくる。</p> <p>○運動遊びに興味をもち、挑戦するようすが見られる。</p> <p>○年長児が遊んでいることや、友達の楽しんでいる姿に刺激を受けて、今まで興味なかった遊びにも、やってみようとする姿が見られた。</p> <p>○ごっこ遊びが盛んになり、友達と話し合って決めるが、自分の思いがなかなか通らないためトラブルがよく見られ、遊びが中断することがある。</p>	<p>○体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○友達のことに関心をもち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○自分のイメージをいろいろな方法で表現しようとする。</p>	<p>○運動遊びに取り組み、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○運動会を楽しみに待ち、喜んで参加する。</p> <p>○友達と一緒に踊ったり、走ったりする楽しさを味わう。</p> <p>○友達のことに関心をもち、仲間に入って遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○自分の思ったことや考えたことを友達に言葉で伝える。</p> <p>○簡単なルールを理解したり、守ったりして友達と遊ぶ。</p> <p>○曲に合わせて、歌ったり、踊ったり、楽器を使って遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○自分なりのイメージで描いたり、製作をする。</p>

★ 環 境 構 成 ・ ☆ 援 助 ・ 配 慮

いっしょに、かけっこしようよ

- ★体を十分動かして遊ぶように長縄、短縄、ボール、バトン、ハチマキ、旗立台など、用具を身近に用意して、そのほかに必要な用具も自分達で取り出しやすいよう分類、整理しておく。
- ★園庭の危険物を取り除き、広く使えるように子どもと一緒に考える。
- ★保育者も一緒にかわりながら、体を動かして遊ぶ楽しさ、心地よさを味わえようとする。
- ★友達とルールを守って遊ぶ楽しさに気づかせていく。



運動会で1番になるぞ。

- ★運動会に向けて取り組んでいる気持ちを受け止め、喜んで参加できるように援助する。
- ★体を動かすことが楽しいと感じられるように、一緒に走ったり、踊ったりする機会をつくる。
- ★友達と一緒に同じ活動をすることを楽しめるようにする。
- ★年長児の走るようすを見ながら、かけっこに参加し、走る心地よさを体験させたり、最後まで頑張る姿の大切さを知らせる。

どの花にしようかな

- ★畑や花壇を耕し土作りをして、苗を植える準備をしておく。
- ★野菜や花の苗を子どもと一緒に植え、植物の生長のようすに興味、関心をもちたいようにする。
- ★保育者が水やりをしたり世話をしているのを見て、一緒にかわれるようにする。



レストランごっこしようね

- ★ごっこ遊びが楽しめるよう素材や材料を用意しておき、役になりきって遊ぶ楽しさを味わえるようにする。
- ★気持ちや思いがなかなか通らず、トラブルがおきたときは、お互いの思いを聞き、落ち着かせながら解決方法を一緒に考えていく。



うわー そうさん、おおきいなあー

- ★動物に関心が持てるよう、動物に関する絵本や図鑑をいつでもみることができるようにして、期待を持たせる。
- ★年長児や年少児の友達と一緒に動物を見学したり、バスに乗ったりするので、集団行動のきまりも守らせながら、楽しく過ごせるようにする。
- ★いろいろな動物を見て、感動、おどろき、発見したことを受け止め、共感する。
- ★見たこと、感動したことをお話ししたり、絵に描いたり、製作したりと自分のイメージで表現したり、ごっこ遊びへとつなげていけるように援助する。

生 活 習 慣	家 庭 と の 連 携	絵 本 ・ 紙 芝 居 ・ 映 写	行 事
<p>*登降時間に遅れないようにする。</p> <p>*外にでるときは帽子をかぶる。</p> <p>*汗をかいたら、ふいたり、衣服を着替える。</p> <p>*休息をとる。</p> <p>*朝食をしっかりとする。</p>	<p>*汗をかいたら着替える、手足が汚れたら洗う、など自分で気づいてできるように家庭との連携をもつ。</p> <p>*運動会のねらいや、取り組み方をわかりやすく伝え、登降時間に遅れがちな子には連絡をとり、協力依頼する。</p>	<p>*だまりこおろぎ                      *とべ・バッダ</p> <p>*とんぼのうんどうかい              *かばくん</p> <p>*ころちゃんのお足おささわぎ      *カハマダラ</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>*運動会の歌                              *こおろぎ</p> <p>*バスごっこ                                *そうさん      *アイ・アイ</p> <p>*ふーゆべま</p>	<p>*幼小合同運動会</p> <p>*視力、聴力検査</p> <p>*秋の遠足</p> <p>*10月生まれの誕生会</p>

1 1月の指導計画 (4歳児)

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<p>○自分のしたい遊びに取り組んだり、遊びを深めたりして楽しさを味わっている。また、友達のものに興味をもち、進んで仲間に入ろうとするなど、友達の影響を受けて遊ぶことが多くなる。</p> <p>○友達同士つながりがより深まり、お互いが理解し合おうとしながら遊ぶ姿が見られる。しかし、まだ自己主張が強く、トラブルが起こることがある。</p> <p>○ごっこ遊びや集団遊びが盛んになり、みんなのやっている遊びに、喜んで参加する子が増えてきた。また1つの遊びにじっくりと取り組むことができるようになってきた。</p> <p>○かけっこ、リレー、縄跳びなどで遊ぶ子が増えてきた。</p>	<p>○友達とかかわる中で、いろいろな遊びを楽しみ、友達のかかわりを深める。</p> <p>○秋の自然にふれながら、十分に楽しむ。</p> <p>○個々のイメージを出し合いながら、友達と表現遊びを楽しむ。</p>	<p>○友達と遊ぶ中で、自分の力を出して遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○気のあった友達とごっこ遊びを楽しむ。</p> <p>○全身を動かして遊ぶ心地よさを味わう。</p> <p>○友達のおきに興味をもち、刺激を受けながら一緒に遊ぶ。</p> <p>○感じたこと、気づいたことを友達や保育者と伝え合う。</p> <p>○秋の自然にふれて遊ぶ。</p> <p>○友達と一緒に音楽に合わせて体を動かしたり、歌を歌ったりして楽しむ。</p>

★ 環 境 構 成 ・ ☆ 保 助 ・ 配 座

なわとび、すこしできるから見てね

★園庭の遊具や用具の点検を行い、安全な使い方や遊び方に気づかせていく。  
 ☆やりたいと思っている遊びに自分から入っていきけるよう、入りやすい雰囲気づくりを心がける。また、保育者も一緒に楽しみながら、満足するまで遊べるようにする。  
 ☆友達に刺激を受けて、自分もできるようにしたいという気持ちを受け止め、一緒にかかわるようにする。  
 ☆その子なりの取り組み方を認め、はりきって行っている姿をほかの子どもにも知らせ、次への意欲へとつなげていく。  
 ☆縄跳びや跳び箱、アラフープなど挑戦してきたものを生活発表会で見せたいという気持ちをたいせつに受け止め、積極的に取り組めるようにする。



ほら、見て、おもしろだよ

★おもちゃなどで積極的に土にふれる機会をもち、収穫する喜びが感じられるようにする。  
 ☆掘ったもの大きさ比べをしたり、形を見立てて遊んだりしながら、おもちゃの大きさや形などに関心をもたせるようにする。  
 ☆年長児が、やきいもパーティーをしようとするときには、一緒に仲間に入れてもらい、落ち葉や木の枝などを集めて、食べる楽しみを期待できるようにする。



ダンス、だいすき

☆年長児が劇場ごっこをしているのを見て、自分達もやりたいという気持ちを受け止め、親しみやすい曲を用意したり、必要な用具を準備したりして、表現遊びができるようにする。  
 ☆楽器を大切に扱い、適切に使うよう知らせる。  
 ☆個々の思いや考えを大切にしながら、みんなで共通のイメージをもって取り組めるようにする。  
 ☆表現遊びや運動遊びを生活発表会で見てもらおうと声をかけ、さらに意欲をもつて取り組めるようにする。



あかい栗っぱ見つけた、まつぱっくり見つけた

★近隣の公園に園外保育に行き、秋の自然にふれる機会をつくる。  
 ☆保育者も子ども達と一緒に落ち葉を拾ったり、木の葉を探したり、虫捕りをしたりしながら、発見したり、感動したりする気持ちを伝え合っているようにする。  
 ☆拾ってきた落ち葉や木の葉を集めて色分け、形ごとに分けたり、遊びに使ったりしながら、色の美しさや形のおもしろさに気づかせていく。  
 ☆落ち葉や木の葉を使った遊びが工夫できるように、いろいろな材料を用意しておく。  
 ☆子ども一人ひとりの表現を大切に受け止め、共感したり、一緒に考えたり、手伝ったりする。  
 ☆作っているときに、年少児が興味をもって見にくることもあるので、貸してあげたり、作り方を教えてあげたり、一緒に作ってあげるように声かけをする。

生活習慣

\*遊んだ後の遊具や、用具の片づけをする。  
 \*衣服の調節をする。  
 \*ローカは静かに歩く。  
 \*トイレの使い方の再確認  
 \*安全な避難の仕方を知る。  
 ・避難訓練の約束を守る。  
 ・実際の消防車や消防士を知る。

家庭との連携

\*秋の自然に興味をもてるよう、近隣の公園や木の葉、木の葉など自然物を使って遊ぶ物を紹介していく。  
 \*生活発表会に向けて、子ども達の取り組みをようすを知らせ、子どもの励みとなるようにしていく。

絵本・紙芝居・映写

\*おおきなおおきなおいも  
 \*しようぼうじどうしゃぶた  
 \*空をとんだマングース \*わたしのワンピース

歌・リズム・体操

\*げんきにしごと \*まつぱっくり  
 \*どんざりころころ \*チポリーノの日陰  
 \*てーじぬくんかん

行 事

\*遊習訓練  
 \*保育参観日  
 \*園外保育  
 \*11月生まれの誕生会  
 \*就学時健康診断  
 \*新入園児受付  
 \*やきいもパーティー

### 12月の指導計画（4歳児）

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思いや考えを遊びの中に取り入れ、工夫して遊ぶようになる。</li> <li>○リズムに合わせて踊ったり、楽器を使っていろいろな音に興味をもつなど、表現する喜びを感じるようになる。</li> <li>○友達と一緒に楽しむ姿が見られるようになる。</li> <li>○鬼ごっこ、縄跳び、ボール遊び、リズム遊びなど、興味のある子ども達が集まって、友達とふれあって遊ぶようになる。</li> <li>○仲良しの友達と話し合ったり、同じ遊びをする友達同士で集まったりして、自分たちの遊びを楽しんでいる。会話も多くなり、ほとんどの子が自分の気持ちや考えを伝えて遊んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個々のイメージを出し合いながら、友達と表現遊びを楽しむ。</li> <li>○好きな遊びの中で自分なりに試したり、工夫したりしながら満足感を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○戸外で十分体を動かして遊ぶ。</li> <li>○自分のイメージしたものを絵に描いたり、作ったりして表現する。</li> <li>○リズムに合わせて友達と一緒に楽しく踊る。</li> <li>○楽器を使って、いろいろな音を楽しむ。</li> <li>○思ったことや考えたことを、お互いに出し合う。</li> <li>○ごっこ遊びや劇遊びなどで、自分の好きな役になって、友達と楽しく遊ぶ。</li> <li>○冬休みを楽しみに待ち、新しい年を迎えることを知る。</li> </ul>

#### ★ 環 境 構 成 ★ 援 助 ・ 配 慮

##### 竹馬、やってみよう

- ★戸外で元気に体を動かして遊べるよう、用具を準備したり、場を確保する。（巧杖台、跳び箱、長縄、短縄、竹馬、フラフープ、など）
- ★保育者も積極的に戸外に出て、一緒に体を動かして遊ぶ心地よさを共感する。（固定遊具、ボール遊び、おにごっこなど）
- ★友達の刺激を受け、運動遊びに挑戦しようとする子がいるので、跳び方を教えてあげたり、手助けしたりしながら、一緒にかかわるようにする。
- ★友達や年長児のやるのを見て、竹馬、跳び箱、フラフープなどに挑戦する子がふえてきたので、遊び場を確保してあげたり、一人一人のやりたい思いを受け止め、声をかけたり、援助をする。



##### サンタさん、いつくるの？

- ★クリスマスに関する絵本や話をしたり、保育室を飾りつけたりして雰囲気作りをする。
- ★クリスマスに期待をもち、プレゼントを入れるくつ下や、ツリーや三角帽子を製作ができるよう、色画用紙、色紙、モール、リボン、などいろいろな材料を用意しておく。
- ★子どもなりのイメージをもって取り組めるように、見守ったり、手伝ったりする。
- ★クリスマスの雰囲気合った曲を流して、踊ったり、楽器遊びが楽しめるようにする。



- ★表現したいイメージが具体的に表しやすいうちに、いろいろな材料や用具を準備しておく。
- ★要求に応じて一緒に準備したり、アイデアを出したりして援助する。
- ★自分の思いどおりにならないことで、友達とのトラブルが起きたときには、それぞれの気持ちを十分に受け止め、保育者が仲立ちをして相手の思いが伝わるようにする。

##### もうすぐふゆやすみだね

- ★年の暮れが近づいてくことや、冬休みを迎えることなどに気づかせ、生活の節目を感じさせる。
- ★絵本・紙芝居・お話をして、冬休みや正月などを楽しみにしたり、身近な社会のようすに関心をもてるようにする。
- ★子どもたちと一緒に保育室をきれいにしたり、遊びや身の回りのものを片づけたりして3学期がスムーズにスタートできるようにする。



生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映写	行事
<ul style="list-style-type: none"> <li>*うがい、手洗いの習慣を身につける。</li> <li>*汚着をしないよう衣服の調節をする。</li> <li>*遊具や用具、自分の身の回りを片づける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*風邪の流行する時期なので、うがい、手洗いの習慣を身につけさせる。</li> <li>*冬休みの過ごし方を、しおりを通して家庭へ協力を依頼する。</li> <li>*生活発表会の案内をして、例と家庭とで子どもの成長をともに喜び合えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*かさじぞう *はなをくくん</li> <li>*さむがりやのサンタ</li> <li>*くりとくらのおきやくさま</li> </ul> <p>歌・リズム・体操</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*あわてんぼうのサンタクロース</li> <li>*お正月</li> <li>*こーじやーうまくわー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*生活発表会</li> <li>*12月生まれの誕生会</li> <li>*クリスマスのお楽しみ会</li> <li>*学級懇談会</li> <li>*2学期終業式</li> <li>*冬休み</li> </ul>

1月の指導計画（4歳児）

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<p>○ほとんどの子どもたちが友達との再会を喜び、元気に登園してくる。冬休み中に体験したことを保育者や友達に話して話そうとする姿が見られる。</p> <p>○トランプやかるたとりなど興味をもち、気のあった友達と遊ぶようすが見られた。また、はわつきやこままわしなど、年長児の姿や友達を見て興味をもつようになり取り組み始めている。できるようにになりたいと繰り返し取り組む子が増えてくる。</p>	<p>○自分なりに考えたり工夫したりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○進んで戸外で遊び、十分体を動かして遊ぶ。</p>	<p>○友達と一緒に正月遊びを楽しむ。</p> <p>○自分なりに考えをだしあいながら、工夫して遊ぶ。</p> <p>○戸外で体を動かして活発に遊ぶ。</p> <p>○地域の行事や伝統行事に興味や関心をもつ。</p> <p>○自分の楽しかったことや感じたことなどを話したり、友達の話の聞いたりする。</p>

★ 環 境 構 成 ・ ☆ 援 助 ・ 配 座

正月遊びは楽しいな

★カルタとり、トランプ、すごろく、福笑い、こままわし、はわつき、まりつき、たこあげなど、伝統的な遊びにできるだけかかわれるように、教材を準備したり、遊び場、時間の確保をする。

★教材や遊具の取り出しや片づけがスムーズにできるよう標示を工夫し、遊びが楽しめるようにする。

☆初めてお正月遊びを経験する子もいるので、保育者も一緒に遊び楽しさを味わわせるようにする。

☆年長児の遊びを見て模倣したり、一緒に遊べるようにする。

ときには保育者が仲介して遊びにかかわれるように援助したり、遊び方を教えたりする。



見て、見て、こまがまわってるよ

★遊びに必要なものが工夫して作れるように、いろいろな材料を準備し、使いやすいように分類しておく。

子どものイメージに合う物が作れるように、保育者も一緒に材料を探したり、作り方を指導する。

こまづくりに必要なもの（フィルムケース、空き容器、竹串、つまようじ、いろいろな紙）

風車作りによるものの必要なもの（風糸、チラシ、ビニール、和紙、竹ひこ）

★製作にあたってはキリを使うので、危険がないよう安全面に留意する。

☆幼児なりに工夫しているところを認め、ほめてあげたりして満足感を味わわせるようにする。

☆自分で考えたり、工夫して作ったりする喜びを味わわせ、保育者も一緒に共感する。

☆他に絵をかいたり、作ったりする子もいるので、場所をつくり取り組めるようにする。

板の花、きれいね

☆園外保育で近隣の公園に行き、板の花見をしたり、周辺の草花を見たりして春が近づいていることに気づかせる。

☆樹蔭の周辺にも目を向けさせ、友達同士で春を見つけたり、感じたりして自然に触れさせようとする。

かけっこしたら、ばかばかしてきたよ

☆寒くても戸外で友達と体を動かして遊べるような場を作り、保育者も一緒に仲間に入って遊ぶことで、遊びの楽しさを伝えていく。また、ルールなども遊びの中で理解したり、確認できるようにする。

縄跳び、ボール遊び、鬼ごっこ、かけっこ、おしくらまんじゅうなど

☆なかなか戸外に出たがらない子には、出かけをして誘うようにして、体を動かす楽しさが感じられるように援助する。

☆トラブルがおきた場面では、子ども同士で思いが伝えられるように仲立ちをしていく。

☆自分の思いを言葉で話したり、相手の話をじっくり聞いたりできるように援助していく。



鬼っているのかな

☆郷土の行事や伝統行事にふれ、由来などに興味や関心をもたせ、ムーチー作りや節分に関する取り組みなど楽しめるようにする。

☆絵本や紙芝居などを読み聞かせ、郷土の行事や昔話などを知る機会とする。

☆友達や保育者と一緒にムーチー作りに楽しく取り組ませる。

☆鬼の面や豆を入れるマス作りなどをして、豆まきを期待がもてるようにする。

☆友達と一緒に簡単なルールのある鬼遊びやゲームをして楽しく遊べるようにする。

生 活 習 慣	家 庭 と の 連 携	絵 本 ・ 紙 芝 居 ・ 映 写	行 事
<p>*うがいや手洗いをして風邪の予防をする。</p> <p>*衣服の調節をする。</p> <p>*ポケットに手を入れて歩くと危ないことを気づかせ、守るようにする。</p>	<p>*家庭でも親子でお正月遊びを楽しんだり、祖父母から昔話を聞いたり、行事に参加したりして交流を深めていくようにする。</p> <p>*風邪の流行する時期なので予防をこころがけ、手洗い、うがい、睡眠、バランスのとれた食事など冬の健康管理を家庭と協力していく。</p>	<p>*ておくろ                      *おなかのなかにおいがいた</p> <p>*おにムーチー                *十二支のはなし</p> <p>*ももたろう</p> <hr/> <p>歌・リズム・体操</p> <hr/> <p>*たこのうた                      *やぎさんゆうびん</p> <p>*ムーチーのうた</p> <p>*いい正月や</p>	<p>*3学期 始業式</p> <p>*身体測定</p> <p>*1月生まれの誕生会</p> <p>*ムーチー作り</p> <p>*修了記念撮影</p> <p>*園外保育</p>

2月の指導計画(4歳児)

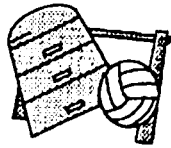
幼 児 の 姿	わ ら い	内 容
<p>○仲良しの友達を誘い合ったり、同じ遊びをする友達同士で集まったりして、自分達の遊びを楽しんでいる。                      会話も多くなり、自分の気持ちや考えを表して遊んでいる。                      ○こままわしに興味をもった子が、まわらせるようになり、周りの友達にも広まって、もっと上手にまわりたいという気持ちで夢中になって遊んでいる。                      ○ドッジボールに興味をもつ子が多くなり、年長児と一緒に取り組む姿が見られる。                      ○縄跳びに挑戦する子が増えてきて、友達と一緒に自分なりの課題をもち取り組んでいる。</p>	<p>○自分なりの課題をもち、力いっぱい遊ぶ。                      ○気の合う友達とイメージを受け止め合って、共通の遊びを楽しむ。</p>	<p>○寒さに負けず戸外で元気に遊ぶ。                      ○ルールのある遊びに喜んで参加し、楽しく遊ぶ。                      ○自分の興味のある遊びに繰り返し挑戦しようとする。                      ○気の合う友達と自分の思いや考えを出し合って遊びを進める。                      ○遊びに必要な物を試したり、工夫したりして作る。</p>

★ 環 境 構 成

☆ 援 助 ・ 記 録

ぼくも仲間に入れて

- ★友達と誘い合ったり、競い合ったりして遊べるような場をじっくりと遊べる時間を保障する。  
 (ボール遊び、鬼ごっこ、こままわし、縄跳び、跳び箱、カルタ取り、トランプ、すごろくなど)
- ★遊びに必要なと思われる遊具、用具を準備しておく。また、要求に応じて一緒に準備できるようにする。  
 (ボール、ハチマキ、ライン引き、短縄、長縄、マットなど)
- ★鬼ごっこなど、友達や年長児と一緒に遊べるように声をかけたり、保育者もかかわって遊び、大勢で遊ぶと楽しいことを味わえるようにする。
- ★ひとりひとりの思いを十分に受け止めながら、遊びがスムーズに進まないときは、遊び方やルールをていねいに知らせ、満足して遊べるようにする。
- ★室内にこもりがちな子どもたちをできるだけ戸外に誘いだし、体を動かす楽しさを感じられるようにする。
- ★戸外から帰ったときの手洗いやうがい、衣服の調節や始末など、保育者がいっしょに行なうことで習慣づけていく。



できた、できた かっこいいぞ

- ★子どもたちの要求にすぐ応じることができるよう、材料、用具を豊富に用意しておく。  
 (両用紙、色紙、空き箱、空き容器、フィルムケース、わりばし、竹串、つまようじ、など)
- ★自分たちのイメージをもち、工夫して遊んでいる様子を見守りながら、必要に応じて技術的な援助をする。また、友達のアイデアに気づくような声かけをし、遊びの充実感を味わわせるようにする。



わたしたちにも、おそうじできるかな

- ★年長組に当番活動の様子をみせてもらったり、できそうなところから一緒にさせてもらったりして掃除の仕方、飼育動物の世話の仕方を覚えてもらうようにする。
- ★やってみたい子や興味のある子からかかわらせ、徐々に関心がもてるように促していく。

わあー、じゃがいも見つけた!

- ★ジャガイモの収穫ができるよう、畑の周辺を整えたり、用具を準備する。
- ★一人一人が収穫の喜びが味わえるように、保育者は様子を見守りながら、まだ眠っていない子に、声をかけたり、手伝ってあげたりする。
- ★ジャガイモを茹でたり、大きさ比べをしたり、形のおもしろさなど、子どもの気づきや、発見、驚きを受けとめ、共感する。
- ★カレーの材料として年長組に渡し、カレーパーティーを楽しむに待つように声かけをする。



生 活 習 慣	家 庭 と の 連 携	絵 本 ・ 紙 芝 居 ・ 映 写	行 事
<p>*登園時間を守るようにする。                      *手洗いやうがいをする。                      *好きな遊びをしているときの安全な避難の仕方を知る。</p>	<p>*風邪の予防に留意してもらう。                      *製作活動が盛んになるので、空き箱、空き容器、牛乳パックなどを提供してもらう。</p>	<p>*こぶとりじいさん *14ひさのさむいふゆ                      *いっすんぼうし                      *とつちくんのカレーようび</p> <p>歌・リズム・体操</p> <p>*まめまき *こんこんくしゃんのうた                      *すうじのうた *カレー・ライスのうた                      *でーじぬくんかん</p>	<p>*節分                      *新入園児…口体験入園                      *園外保育                      *2月生まれの誕生会                      *ジャガイモ祭り                      *カレーパーティー                      *避難訓練</p>

3月の指導計画（4歳児）

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<p>○年長児に飼育当番の仕事のやり方を教えてもらい飼育活動を楽しんでしようとする。</p> <p>○縄跳びや自転車乗りなど、興味をもった遊びにすすんで取り組み、友達と競いあつたりしている姿が見られる。</p> <p>○子どもたちの仲間意識が強まり、わからないところを友達同士教え合ったり、手伝つたりして、自分たちの力で作りあげようとするようになってくる。</p> <p>○年長児へのプレゼント作り、お別れ会、修了式への参加を通して、自分達も、もうすぐ年長組になるんだという期待をもつようになる。</p>	<p>○年長組になる喜びや期待をもち、進んで遊びや仕事をしようとする。</p> <p>○自分なりの力を発揮しながら、思いを出して、友達とかがわり、いろいろな活動を楽しむ。</p>	<p>○年長児への感謝の気持ちと年長組になるという期待をもつ。</p> <p>○お別れの記念にプレゼントを作り、感謝の気持ちを表す。</p> <p>○友達と協力して、遊びや仕事を進めようとする。</p> <p>○いろいろな材料・用具を使い、創意工夫して、かいたり作つたりして満足感を味わう。</p> <p>○体を十分に動かして、満足感を味わう。</p> <p>○春の訪れを感じる。</p>

★ 環 境 構 成

☆ 援 助 ・ 配 慮

おい、ドッジボールしよう！

★遊びに必要な道具や用具を取り出しやすい場所に準備しておき、ゆつたりとした時間や場を保障し、好きな遊びが存分に取組めるようにする。

★進んで戸外で遊べるように誘いかけ、自分なりの課題をもち、鉄棒やうんてい、なわとびなどができるようになったことを認めていったり、ほかの子どもたちにも知らせて友達と遊ぶ楽しさを感じ取らせたりする。

★ドッジボールや鬼ごっこなど友達とかがわられるような遊びを取り入れたり、また、年長児がしている遊びに入れてもらつたりして、年長児へのあこがれや期待がもてるようにしていく。

★子どもたちが自分たちのものとして遊びが進められるようになるまで、ルールを定めていかに教え、保育者も積極的にその遊びの楽しさを伝えていくようにする。

★気持ちの行き違いなどでトラブルが起こるときは、互いの話を十分に聞き、気持ちの疎通が図れるような仲立ちをしていくようにする。

おにちゃん達、プレゼントよろこぶかな？

★園全体での活動も多く予定されるが、子どもたちが十分に自分たちの遊びを楽しめるよう、時間の保障をしていく。

★子どもたちがイメージしたことに取組めるよう、用具や材料・素材を十分に準備しておく。

（ひな人形作り、作品の表紙作り、年長児へのプレゼント作り、空き箱製作、保育室の装飾など）

★年長児がもうすぐ卒業することを知らせ、年長児にしてもらったことを話しながら、お祝いの気持ちをもち、年長児に喜んでもらえるよう、プレゼントを作るように意識づけていく。



チャボさんのおうちをきれいにしよう

★年長児から飼育動物の世話を引き継ぐようにし、保育者もかかわりながら、まず自分の興味のあるところからさせて、頑張つたところを認めるようにする。

★掃除をいやがっている子がいたら、友達の頑張っている様子や楽しそうにやっている様子を見せて、自然に気持ちが向くようにする。

★生き物の世話を通して、自分たちと同じように生きているということ、きれいにすると気持ちいいことを気づかせ、やさしさや思いやりの気持ちで接することができるよう援助する。



もうすぐ年長組になるんだね

★年長のクラスの担任と連携を取りながら、交流を深めて、残り少ない年長児との生活を十分楽しめるように機会を作っていく。

★もうすぐ年長組になるという期待をもち、意欲的に活動に取り組めるよう配慮する。

★今までお世話になった年長児にお礼の気持ちを込めて出し物をしたり、プレゼントを渡したりして、楽しい時間が過ごせるようにする。

★プレゼント作り、お別れ会、修了式などでは、一人ひとりの思いや考えを大切にしながら、子ども達と一緒に環境作りをしていく。

★積み木や砂場道具などの片づけなども年長児から引き継ぎ、きれいになったときの気持ちよさを年長児に負けないよう頑張っている姿を大切にしたい。



生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居・映写	行事
<p>*あいさつをする。</p> <p>*いすに腰掛けて話を聞く。</p> <p>*所持品の整理をする。</p> <p>*集団のきまりを守る。</p> <p>*保育室の清掃、道具の片づけをする。</p>	<p>*1年間の作品（絵など）の振り返りを子ども達と一緒に作って持ち帰り、家庭でも話題にしてもらう。</p> <p>*子ども達の1年間の成長を保護者と共に喜び合う。</p> <p>*連絡するにあたり、親子での連携の協力を呼びかける。</p>	<p>*かいじゅうたちのいるところ</p> <p>*ロボットかみー</p> <p>*おしりれのぼうけん *さとらきび</p> <hr/> <p>歌・リズム・体操</p> <hr/> <p>*うれしいひなまつり</p> <p>*おもいでのアルパム</p> <p>*いっちょくたっく</p>	<p>*園外保育</p> <p>*ひなまつり</p> <p>*3月生まれの誕生会</p> <p>*親子活舞</p> <p>*お別れ会</p> <p>*終業式</p> <p>*保育修了式</p>

安全・保健行事計画書(1)

わらい	安全 : 安全に必要な習慣・態度を身に付ける。				保健 : 健康の維持・増進に関心をもち、必要な習慣を養う。							
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
安全や保健に因りあう行事												
安全・保健に関する指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 歩道の決まりを道しるべ(止まり・正しい歩行)を知る</li> <li>* 集団で歩行する時(決まるところ・寄り道せず)に歩行する</li> <li>* 幼稚園の施設内(園舎・遊具)の危険箇所を知る</li> <li>* 園生活の過ごし方(生活リズム)を知る</li> <li>* 身体測定(身長・体重)の受け方(準備・姿勢)について知る</li> <li>* 測定時(早朝・夕方)の服装を知る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 空内外での安全な遊び方(固定遊具・プールでの歩き方)を知る</li> <li>* 遠足(おやつ・弁当の持ち方)を知る</li> <li>* 遠足(おやつ・弁当の持ち方)を知る</li> <li>* 健康診断の受け方(準備・姿勢)について知る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 雨時の安全な生活の仕方(傘の持ち方・雨具の準備)を知る</li> <li>* 火災時の安全な避難の仕方(火事警報器の音・避難経路)を知る</li> <li>* 避難訓練の約束(火事警報器の音・避難経路)を守る</li> <li>* 避難訓練の約束(火事警報器の音・避難経路)を守る</li> <li>* 避難訓練の約束(火事警報器の音・避難経路)を守る</li> <li>* 避難訓練の約束(火事警報器の音・避難経路)を守る</li> <li>* 避難訓練の約束(火事警報器の音・避難経路)を守る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* プール遊びの仕方(水に慣れる・水の危険性を知らせる)を知る</li> <li>* プール遊びの約束(水に慣れる・水の危険性を知らせる)を守る</li> <li>* プール遊びの約束(水に慣れる・水の危険性を知らせる)を守る</li> <li>* プール遊びの約束(水に慣れる・水の危険性を知らせる)を守る</li> <li>* プール遊びの約束(水に慣れる・水の危険性を知らせる)を守る</li> <li>* プール遊びの約束(水に慣れる・水の危険性を知らせる)を守る</li> <li>* プール遊びの約束(水に慣れる・水の危険性を知らせる)を守る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 園生活リズム(生活リズム)を知る</li> <li>* 園生活リズム(生活リズム)を知る</li> <li>* 園生活リズム(生活リズム)を知る</li> <li>* 園生活リズム(生活リズム)を知る</li> <li>* 園生活リズム(生活リズム)を知る</li> <li>* 園生活リズム(生活リズム)を知る</li> <li>* 園生活リズム(生活リズム)を知る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 健康で清潔な生活(生活リズム)を知る</li> <li>* 健康で清潔な生活(生活リズム)を知る</li> <li>* 健康で清潔な生活(生活リズム)を知る</li> <li>* 健康で清潔な生活(生活リズム)を知る</li> <li>* 健康で清潔な生活(生活リズム)を知る</li> <li>* 健康で清潔な生活(生活リズム)を知る</li> <li>* 健康で清潔な生活(生活リズム)を知る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 安全な遊具の使い方(遊具の約束)を知る</li> <li>* 安全な遊具の使い方(遊具の約束)を知る</li> <li>* 安全な遊具の使い方(遊具の約束)を知る</li> <li>* 安全な遊具の使い方(遊具の約束)を知る</li> <li>* 安全な遊具の使い方(遊具の約束)を知る</li> <li>* 安全な遊具の使い方(遊具の約束)を知る</li> <li>* 安全な遊具の使い方(遊具の約束)を知る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 衣服の着脱(着脱)を知る</li> <li>* 衣服の着脱(着脱)を知る</li> <li>* 衣服の着脱(着脱)を知る</li> <li>* 衣服の着脱(着脱)を知る</li> <li>* 衣服の着脱(着脱)を知る</li> <li>* 衣服の着脱(着脱)を知る</li> <li>* 衣服の着脱(着脱)を知る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 正月(正月)の過ごし方(正月)を知る</li> <li>* 正月(正月)の過ごし方(正月)を知る</li> <li>* 正月(正月)の過ごし方(正月)を知る</li> <li>* 正月(正月)の過ごし方(正月)を知る</li> <li>* 正月(正月)の過ごし方(正月)を知る</li> <li>* 正月(正月)の過ごし方(正月)を知る</li> <li>* 正月(正月)の過ごし方(正月)を知る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 水遊び(水遊び)の約束(水遊び)を守る</li> <li>* 水遊び(水遊び)の約束(水遊び)を守る</li> <li>* 水遊び(水遊び)の約束(水遊び)を守る</li> <li>* 水遊び(水遊び)の約束(水遊び)を守る</li> <li>* 水遊び(水遊び)の約束(水遊び)を守る</li> <li>* 水遊び(水遊び)の約束(水遊び)を守る</li> <li>* 水遊び(水遊び)の約束(水遊び)を守る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 交通安全(交通安全)の約束(交通安全)を守る</li> <li>* 交通安全(交通安全)の約束(交通安全)を守る</li> <li>* 交通安全(交通安全)の約束(交通安全)を守る</li> <li>* 交通安全(交通安全)の約束(交通安全)を守る</li> <li>* 交通安全(交通安全)の約束(交通安全)を守る</li> <li>* 交通安全(交通安全)の約束(交通安全)を守る</li> <li>* 交通安全(交通安全)の約束(交通安全)を守る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 国際教育(国際教育)の約束(国際教育)を守る</li> <li>* 国際教育(国際教育)の約束(国際教育)を守る</li> <li>* 国際教育(国際教育)の約束(国際教育)を守る</li> <li>* 国際教育(国際教育)の約束(国際教育)を守る</li> <li>* 国際教育(国際教育)の約束(国際教育)を守る</li> <li>* 国際教育(国際教育)の約束(国際教育)を守る</li> <li>* 国際教育(国際教育)の約束(国際教育)を守る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 安全点検(安全点検)の約束(安全点検)を守る</li> <li>* 安全点検(安全点検)の約束(安全点検)を守る</li> <li>* 安全点検(安全点検)の約束(安全点検)を守る</li> <li>* 安全点検(安全点検)の約束(安全点検)を守る</li> <li>* 安全点検(安全点検)の約束(安全点検)を守る</li> <li>* 安全点検(安全点検)の約束(安全点検)を守る</li> <li>* 安全点検(安全点検)の約束(安全点検)を守る</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学年末親子清掃(学年末親子清掃)の約束(学年末親子清掃)を守る</li> <li>* 学年末親子清掃(学年末親子清掃)の約束(学年末親子清掃)を守る</li> <li>* 学年末親子清掃(学年末親子清掃)の約束(学年末親子清掃)を守る</li> <li>* 学年末親子清掃(学年末親子清掃)の約束(学年末親子清掃)を守る</li> <li>* 学年末親子清掃(学年末親子清掃)の約束(学年末親子清掃)を守る</li> <li>* 学年末親子清掃(学年末親子清掃)の約束(学年末親子清掃)を守る</li> <li>* 学年末親子清掃(学年末親子清掃)の約束(学年末親子清掃)を守る</li> </ul>											



地域と文化の年間計画

おらい	○地域とかかわる行事を通して、地域の文化、自然に目を向け、ふれあうことを楽しむ。											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域と関わる行事	<p>＊夏野菜植え付け</p> <p>＊親子運動会</p> <p>＊収穫</p> <p>＊試食</p> <p>＊お芋の植え付け</p> <p>＊お祭り</p> <p>＊お宮の目</p> <p>＊てだこ祭り</p> <p>＊旧盆</p> <p>＊十五夜</p> <p>＊運動会</p> <p>＊焼き芋パーティー</p> <p>＊生活発表会</p> <p>＊ムーティー</p> <p>＊むらつき</p> <p>＊ジャガイモの植え付け</p> <p>＊収穫</p> <p>＊カレーパーティー</p> <p>＊ムーティー</p> <p>＊旧正</p> <p>＊彼岸</p> <p>浦添市のエイサー（牧港・城間・西原・内間） 獅子（仲西・勢理客・内間） アギバーリー（才濱） 綱引き（城間松明・西原・前田） 棒（前田・内間） 組踊り（沢崎） 金鼓隊（経塚）</p>											
わらへ歌	＊かごめかごめ ＊あやたつた などの栗田遊び	＊ちんくわーん とうふん まあさん ＊おおがれせがれ	＊あーみーまーよ ＊あーやめ ポンポン	＊じんじん ＊あぬふし てーり	＊ちんめくじゆうしい ＊天ぬ どーとめーくわー ＊エイサーの曲、踊り	＊ふゆま	＊花ぬぬ中 ＊でーしぬ くんかん	＊こーじゃー うまわー	＊いい正月やー ＊ムーティーのうた	＊いーしんぐー はなたかせ	＊いっちく たーちく	
絵本 紙芝居	＊おきなわのしごととこども ＊新おきなわばなしシリーズ		＊頑張れハリー	＊かりゆしの曲 ＊おじいさんと リパニ	＊かえるのつなひき ＊エイサー	＊カバマダラ	＊空を飛んだ マングース		＊トーマのはなし ＊おにん、チ	＊さとうさび		
遊びをふれあ	<p>＊地域の公園に草の過足に行く 草花摘み・虫捕り・遊具で遊ぶ</p> <p>＊セミ捕りに行く</p> <p>＊落ち葉や木の葉・虫探しに行く</p> <p>＊たご揚げや板の花を見に行く</p> <p>＊お別れ過足に行く</p> <p>浦添城址公園 伊祖公園 浦添大公園 泉小公園 勢理客小公園 ひまわり公園 宮城公園 嘉数高台公園</p>											
広げられるが	<p>＊浦添市立図書館 浦添市立美術館 へ見学に行く</p> <p>＊浦添市民運動公園へ行く</p> <p>＊消防署・郵便局・スーパー・工場へ見学に行く</p>											
交流ができる	<p>＊保育所や保育園と交流をする</p> <p>＊地域の児童センターへ行く</p> <p>＊国際センターの人と交流をする</p> <p>＊運動会</p> <p>＊小学校と交流（生活科等）</p> <p>＊避難訓練</p> <p>＊生活発表会・学芸会招待</p> <p>＊給食試食会</p> <p>＊授業参観</p> <p>＊地域の人や老人会の人とふれあう</p> <p>＊国際交流（キンザー等）</p> <p>＊キャンプ基地内の学校へ行く</p> <p>＊自分達の学校へ招待する</p>											
ふれあ	<p>＊身近にある史跡 にふれる</p> <p>浦添城跡 伊祖城跡 浦添ようどれ 伊祖の高麗墓 浦添理理</p> <p>当山の石巻 経塚の碑 内間の大アカギ 牧港テラブのガマ</p>											
環境構成 援助	<p>○玄関先などにコーナーを設け、季節の草花や夏物、型紙など地域構成を考える。ときには、紅葉や雪など職士の文化に身近にふれることができるよう、視しみがもてる同地作りをする。</p> <p>○身近にある地域の公園へ出かけ、草花を摘んだり、虫捕りをして自然にふれたり、遊具で遊んだりしながら、自分達の地域に親しみ、関心がもてるようにする。</p> <p>○地域にある児童センターへ出かけ、施設や利用方法を紹介し、帰後も保護者や友達と一緒に利用していることを知らせていく。</p> <p>○地域にある施設（国際センター、保育所、保育園など）と、連携を取り合い、交流できるようにする。</p> <p>○身近にある自然物を使ったアダンの風車、ソテツの虫かごなど目の玩具に親しめるよう素材、用具を準備して、祖父母や地域のお年寄りと一緒にふれあいがもてるようにする。</p> <p>○身体みに体験したエイサーや綱引きなど、園生活においても再現して踊ったり、遊んだりできるように子どもの要求に応じて場作りをする。また、地域の人材を活用していけるようにする。 運動会や生活発表会で自分達が取り用んできたことが発表できるように援助する。</p> <p>○地域の公園へ出かけ、秋の自然にふれ、木の葉や落ち葉集め、虫捕りなど見たり、触ったり、探したりするなど体験ができるようにする。</p> <p>○社会経験が広げられる場として、市立図書館や美術館を見学して、地域の文化にふれる機会をつくる。また、郵便局や消防署など働いている様子を見学して、関心がもてるようにする。</p> <p>○園外保育の場は、地域にある史跡にもふれる機会をつくるようにする。また、季節にあわせて板を見たりできるようにする。</p> <p>○ムーティー作りを体験を通して、郷土の行事によれ、関しをもたせるようにする。 シメナービ、ムチアガラサー、サンニンの葉など</p>											

図1 観察の計画 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (1) (2) (3)

おらい	飼育: ●身近な小動物を見たり、触れたり、世話をする等の関わりを通して親しみをもち、生命の尊さに気づきいたわったり大切にしたりする。	栽培: ●植物との関わりを通して美しさや不思議さを感じ、興味関心を持つ。 ●身近にある植物を取り入れて遊ぶ。
花や野菜の栽培	<p>4月: アサガオ・ヒマワリ (播まき・色水遊び) → 5月: 播まき → 6月: 色水遊び → 7月: 種とり → 8月: 種とり → 9月: 種で遊ぶ → 10月: マリ・ゴールド (苗を植える) → 11月: 種とり → 12月: インパチェンス・チュウリップ (苗を植える・球根を植える) → 1月: 観察</p> <p>サルビア・スイトビー・パンジー (水を吸う・ままごとに使う・種とり・幼虫を見つける) → 2月: ままごとに使う → 3月: ままごとに使う</p> <p>ペゴニア・ベチュニア・モスローゼ・マツバボタン (ままごとに使う・色水遊び) → 4月: ままごとに使う → 5月: ままごとに使う</p> <p>トレニア・パーペナ・センニチコウ・ヒヤクニチソウ (苗を植える・水を吸う・種を植える) → 6月: ままごとに使う → 7月: ままごとに使う → 8月: ドライフラワーにする → 9月: 観察</p> <p>キンレンカ・ホウセンカ (色水遊び) → 10月: 色水遊び → 11月: 葉っぱで遊ぶ → 12月: 葉っぱで遊ぶ → 1月: 葉っぱで遊ぶ → 2月: 葉っぱで遊ぶ → 3月: 葉っぱで遊ぶ</p> <p>ゴーヤー・ナス・ヘチマ・ピーマン・オクラ (苗を植える・水を吸う・種を植える) → 4月: 苗を植える → 5月: 水を吸う → 6月: 種を植える → 7月: 観察 → 8月: 観察 → 9月: 観察 → 10月: 観察 → 11月: 観察 → 12月: 観察 → 1月: 観察 → 2月: 観察 → 3月: 観察</p>	<p>10月: キバナコスモス色水 → 11月: 種とり → 12月: ヒヤシンス・クロッカス (水栽培) → 1月: 観察</p> <p>コスモス苗植え → 2月: 種とり → 3月: 観察</p> <p>ハツカネギ・ミニトマト・ニンジン・タマネギ・ジャガイモ (種まき・種まき・種まき・種まき) → 4月: 種まき → 5月: 種まき → 6月: 種まき → 7月: 種まき → 8月: 種まき → 9月: 種まき → 10月: 種まき → 11月: 種まき → 12月: 種まき → 1月: 種まき → 2月: 種まき → 3月: 種まき</p> <p>カイワレダイコン・ハツカダイコン (葉を取って食べる) → 4月: 葉を取って食べる → 5月: 葉を取って食べる → 6月: 葉を取って食べる → 7月: 葉を取って食べる → 8月: 葉を取って食べる → 9月: 葉を取って食べる → 10月: 葉を取って食べる → 11月: 葉を取って食べる → 12月: 葉を取って食べる → 1月: 葉を取って食べる → 2月: 葉を取って食べる → 3月: 葉を取って食べる</p>
草や木	<p>ホルト・ユウナ・モモタマナ・ガジュマル・ババイヤ・ツクシ・ハイビスカス・アリアケカズラ (色水遊び・色水遊び) → 4月: 色水遊び → 5月: 色水遊び → 6月: 色水遊び → 7月: 色水遊び → 8月: 色水遊び → 9月: 色水遊び → 10月: 色水遊び → 11月: 色水遊び → 12月: 色水遊び → 1月: 色水遊び → 2月: 色水遊び → 3月: 色水遊び</p> <p>ジュズダマ・オシキソウ・タチアワユキセンダングサ・クリ・ゲトウ・バナナ・パンツメクサ・タンポポ・ムラサキカタバネ (花で遊ぶ・観察・試食) → 4月: 花で遊ぶ → 5月: 観察 → 6月: 試食 → 7月: 観察 → 8月: 試食 → 9月: 観察 → 10月: 試食 → 11月: 観察 → 12月: 試食 → 1月: 観察 → 2月: 試食 → 3月: 観察</p>	<p>セミを捕る → 赤くなった葉や木の突で遊ぶ → 観察</p> <p>ままごとに使う → 飾りにする → 観察</p> <p>木登り (ロープを付けてプランコウにして遊ぶ) → 木の突を取る (ままごと・ゲーム) → 観察</p> <p>くっつけて遊ぶ → ネットレス等の飾りをつくる → 観察</p> <p>葉に触って遊ぶ → 花びらをならす → 観察</p> <p>くっつき遊び → うさぎの餌 → 観察</p> <p>実を食べる → 種で遊ぶ → 観察</p> <p>ムーチーに使う → 観察</p> <p>マツ → マツボっくり拾い → 製作 → 松葉で遊ぶ → 観察</p>
昆虫とチョウ	<p>リュウキュウコスミレ (ツマグロヒョウモンチョウ) → 観察</p> <p>トウワタ (カバマダラ) → 観察</p> <p>シークワーサー (アゲハチョウ) → 観察</p> <p>ゴールデンシトウ (ウスキノシトウ) → 観察</p> <p>ゴウライカガ (オオゴマダラ) → 観察</p> <p>ツルモウリンカ (リュウキュウアサギマダラ) → 観察</p> <p>キヨボク (ツマベニチョウ) → 観察</p>	<p>観察</p>
小動物	<p>ウサギ・ハムスター・チャボ・ヒココ・アヒル → 世話をする・触れる・遊ぶ → 観察</p> <p>カメ・ザリガニ → 観察</p> <p>キンギョ・グッピー → 観察</p> <p>バッタ・テントウムシ・カナブン・カキリムシ → 観察</p> <p>ダンゴムシ・カメムシ・カタツムリ・ミズ → 観察</p> <p>オタマジャクシ・カエル → 観察</p>	<p>セミ → 捕まえる・観察・脱皮を楽める → 観察</p> <p>トンボ・ヤゴ・コオロギ → 捕まえる・観察 (成長・変化)・放す → 観察</p>
配慮	<p>飼育: ●疑問や関心を持ったことを、友達同士で教え合ったり、図鑑を調べたりしている姿を見守ったり一緒に考えたりしていく。 ●それぞれの小動物にふさわしい関わりができるような環境を工夫する。 ●小動物とのふれあいを通じて生命の大切さに気づかせていくようにする。 ●小動物と関わった後は、手をしっかり洗うようにする。</p>	<p>栽培: ●いろいろな種類の草花を子どもと一緒に育て、充分遊べるように場の工夫をする。 ●疑問に思ったことを自分達で調べることができるように、草花に関する絵本や図鑑を身近に置く。 ●植物の生長や季節的な変化を促し、それに気づかせるようにしていく。 ●幼児が自然と関わる姿に共感しながら、周りの幼児にもその楽しさや不思議さなどが伝わるようにする。</p>

## Ⅵ 研究のまとめ

### 1 研究の成果

- \* 参考文献, 研究資料を参考に, 理論研究を進め, 試行錯誤しながら教育課程編成の試みができたことはよかった。
- \* 幼児の発達を理解するため, 保育実践をしたことから, 基本的な生活習慣などにおいて, 4歳児は人体の幼児が確立され, 3歳児は発達段階の違いのあることが理解できた。幼児の発達やその過程には, 生活経験の違いなどによる個人差があり, 一人一人の発達する姿をていねいに受け止めて指導を行う必要のあることがわかった。
- \* 3年間の長期的見通しをもって, 幼児の発達を見守り育てていくことの大切さを感じた。

### 2 今後の課題

- \* 3年保育が実現した時に, 戸惑うことがないよう教育課程編成試案を検討し, 今後も保育実践や研究を積み重ね深めていきたい。
- \* 保育所と幼稚園のお互いの良さを理解して協力し合い, 地域子ども達をよりよい環境の中で育てられるよう幼保の連携を図ってきたい。

### 【 おわりに 】

今回の研究を通して, 市立保育所にて3歳児・4歳児と直に接してみて, また幼くかわいいながらも一生懸命な子ども達と保育実践することができました。3歳児・4歳児・5歳児のそれぞれの良さを踏まえることもでき, 保育者と子ども, 子ども同士の関わりと, 共に育つことを改めて実感させられました。

研究期間中, ご指導下さいました浦添市教育委員会の宮城久子指導課主査, 比嘉美也子指導主事, 教育研究所の新城英将所長, 池田博暁係長, 与古田忠信指導主事, 研究所の職員のみなさんに深く感謝申し上げます。御協力いただきました浦添市役所児童家庭課親戚祖謙一課長, 市立内間保育所の仲西文子所長をはじめ保育所の諸先生方, また, 研修の機会を与えて下さいました当山幼稚園の仲田正則園長, 牧港幼稚園の前泊南美園長をはじめ幼稚園の諸先生方に厚くお礼申し上げます。

### 【 参考文献・資料 】

- \* 幼稚園教育要領解説 文部省 フレーベル館
- \* 3年保育の教育課程編成要領 沖縄県教育委員会
- \* 幼稚園教育課程編成要領 沖縄県教育委員会
- \* 新幼稚園教育要領の解説 ぎょうせい  
小川博久/森上史朗/小田 豊/神長美津子 編著
- \* 幼稚園教育要領の解説と実践①～③ 小学館
- \* 保育原理 待井和江 ミネルヴァ書房
- \* 幼稚園の教育課程と指導計画  
川崎チヨ子 明治図書
- \* 子どもと創る保育 ～教育課程～  
鳴門教育大学附属幼稚園
- \* 教育課程・指導計画 東風平町立白川幼稚園
- \* 3年保育の教育課程と年間計画  
東京都千代田区立富士見幼稚園
- \* 指導計画 東京都千代田区立千代田幼稚園
- \* 年間指導計画 沖縄女子短期大学附属報恩幼稚園
- \* 姫路市立教育研究所 平成4年度 研究報告
- \* 浦添市の幼稚園教育の振興について ～答申～

